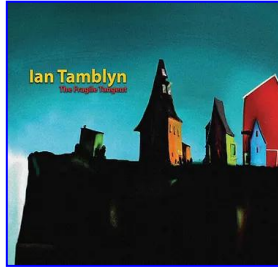


MAIL Order List 2026-#3

(2026 年 9 月 17 日作成)

www.tambourine-japan.com
email: song@tambourine-japan.com
email: tambour@ya2.so-net.ne.jp



(List 2026-#3 紙版使用表紙ジャケット)
IAN TAMBLYN/The Fragile Tangent (Canada)

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。

A ¥ 1 9 8 0 (税込み¥2178) B ¥ 2 1 8 0 (税込み¥2398)
C ¥ 2 3 5 0 (税込み¥2585) D ¥ 2 5 8 0 (税込み¥2838) E ¥ 2 8 8 0 (税込み¥3168)
X ¥ 4 8 0 (税込み¥528) Y ¥ 9 8 0 (税込み¥1078) Z ¥ 1 4 8 0 (税込み¥1628)

※発売年が 10 年以上前の商品は検品してお届けします。

(送料)

※ご注文枚数に関係なく《一律 1 8 5 円》郵送

ただし LP を含む場合は一律 6 6 0 円。

※代金引換送料（郵送）：590 円何枚でも

LP を含む場合は + 3 5 0 円。

※お支払いは商品お受け取り後で OK です。振込先を記載したメモをお入れして先に商品をお届けします。

【ご注文はできるだけ 10/2 までをお願いします】

にてお願いします。

- ご注文の際、プライス又はプライス・コードをお書き願います。
- お問合せはメールにてお願いします。



日照りにも負けず長雨にも負けず栗の実わんさか

(夏明けの通販リスト)

*それにしても日本各地、世界各地で災害の多い夏でしたね。そういうニュースに一憂しながら、今年の夏は「夏休みの友」に向う気分で、歌詞や曲目解説の日本語訳を楽しみました。意味やストーリーを考えながら、意味不明なときはミュージシャン本人に訊いたりもして訳してみると、歌詞の世界により近づけた気分になりました。アルバムへの愛着も増しました。対訳の試みは今回販売する Ian Tamblyn の新作を最後にしばらくは休止かなと思っています。

*ちょこちょこミニリストを発行していますが、その中でも Andy Irvine の新作はダントツで売れています。タムボリンの利用者だけで販売するのはもったいないと、メルカリでも販売。当店はハガキやファックスで注文される方もいらっしゃるの、リスト発行前に他ショップでの販売は停止しました。
*ネット情報が豊富なこともあって、コメントが長めになりがちです。文字数に関係のない配信版 & ダウンロード版は良いのですが、郵送版(紙版)はプリント作業の大変さもあって、掲載数及びコメントを削減しています。

(分割払い)

*分割払いをご希望の方はお申し出下さい。最初のお支払いは請求額の半額になります。残り半額は 11月15日 まででOKです。

USA, Canada, UK & Ireland, England, Scotland, Ireland, Europe 他,
Sale 他(CD, LP), Compass Records 特注

(ジャケ写掲載分が初入荷と初コメント商品です)

[CD/USA。Eric Andersen の新譜(2CD) 予約受付♪]



*ERIC ANDERSEN: Welcome To Japan ¥3180 (税込み¥3498)

1976年、エリック・アンダーソン初来日ツアーをしたときのライヴが二枚組で発売されます。収録曲は各8曲の計16曲です。私め船津が本作の発売に合わせて、エリック・アンダーソンにインタビューしました。ご予約の皆さまにインタビュー記事を差し上げます。エリック自身も今回のインタビューをととても喜んでくれていて、本人からその記事の利用許諾を求められ、快諾しました。正式発売日は11月27日ですが、当店には **10月末入荷予定**です。レコード会社は New Shot Records。

※予約注文の〆切り日は **10月10日(土)**。

[CD/USA {Reissue, Old Recording}]



(Flying Burrito) (Dickey Betts)

*FLYING BURRITO BROTHERS

:Live At The Bottom Line NYC 1976 D

(1976 にニューヨークの Bottom Line で行ったライヴ音源からの全 14 曲。メンバーは、Joel Scott Hill, Gib Guilbeau, Skip Battin, "Sneaky" Pete Kleinow。1976 年/2022 年。

Liberation Hall)

*DICKY BETTS:Live From The Lone Star Roadhouse

New York City 1988 ¥4280 (税込み¥4708)

(1988 年に Lone Star Roadhouse で行ったライヴの二枚組。全 17 曲 {内、ボーナストラック 8 曲}。音源は FM ラジオ。バンド編成でメンバーは Warren Haynes, Johnny Neel, Matt Abts, Marty Privette。ゲスト:Rick Derringer, Jack Bruce, Mick Taylor。1988 年/2024 作。Rock Beat)

*FLYING BURRITO BROTHERS

:Live In Amsterdam 1972 ¥4280 (税込み¥4708)

(Rick Roberts {ヴォーカル、ギター}, Byron Berline {フィドル、ヴォーカル}, Roger Bush {ベース、ヴォーカル}, Alan Munde {バンジョー、エレキギター}, Kenny Wertz {ギター、ヴォーカル}, Eric Dalton {ドラムス}, Don Beck {ペダル・スティール} の珍しい顔ぶれの Flying Burrito の 1972 年 1 月 14 日のライヴを収録した二枚組。全 29 曲 {内ボーナストラック 5 曲}。1972 年/2024 作。Liberation Hall)

*LIVINGSTON TAYLOR:Last Alaska Moon B

(James Taylor の弟、Livingston Taylor の 2010 年作。兄の James とそっくりな温かみのある声で 軽やかにうたう。その温かみと軽やかさは何とも心地よくて魅力的。w. Leland Sklar, Steve Gadd, Vince Gill, Andrea Zonn, Dan Dugmore 他。全 12 曲。Whistling Dog)

*LIVINGSTON TAYLOR:The Early Years (1970-1977) D

(Livingston Taylor の初期のアルバム三枚、"Livingston Taylor" {1970 年} から 8 曲, "Liv" {1971 年} から 5 曲, "Over The Rainbow" {1973 年} から 6 曲の全 19 曲をピックアップしたコンピレーション。1970 年, 1971 年, 1973 年/2021 作。Whistling Dog)

*DAVID MUNYON:Code Name:Painter D

(David Munyon の最初期、1994 年イタリアでのギター弾き語りライヴ。彼の唄は感性豊かかつ滋味豊かで、ヴォーカルには静けさのなかに悲喜こもごもな深い味わいがある。加えてギターの演奏は個々に冴え、かつ自身の唄に様々な彩りを添えていて、"Songs with Guitar"スタイルのアルバムとして秀逸。デビュー・アルバム "Code Name:Jumper" {1990 年} から 6 曲を含む全 11 曲。1994 年/2026 年。New Shot)

*ROD PICOTT:Ville Lumiere Promenade D

(Rod Picott は本作を除き 2001 年から自身のレーベルから 16 枚も

のアルバムをリリースしている今も現役の SSW。本作は 2005 年、Rod がドブロ&ラップ・スティールの名手 Matt Mauch をお伴にしてのフランスはパリでのライヴで 21 曲収録。感情を押し殺し、ボソボソうたう彼の唄、その不思議な物語の世界に引き込まれる。「あまりにも知られていない SSW の至宝の一人」["No Depression"]。2025 作。New Shot)

- *JACK HARDY:Southern Comfort D
(Jack Hardy{1947-2011} が 1988 年にイタリア南部のコゼンツァで行ったライヴ。全 16 曲中未発表曲 9 曲。1988 年/2025 作。New Shot)
- *JACK HARDY:Live On Stage In Italy C
(1993 年に Jack Hardy がイタリア公演を行ったときのライヴ。全 17 曲中 8 曲が未発表曲。1993 年/2023 作。New Shot)
- *CALVIN RUSSELL:Equal Love C
(テキサス・オースティン出身の SSW の Calvin Russell{1948-2011} の 1997 年イタリアでのライヴ。T. V. Zandt 作の二曲を含む全 16 曲。1997 年/2025 作。New Shot)
- *TOM OVANS:When The Dice Began To Roll C
(Tom Ovans の 1993 年イタリアでのライヴ。全 21 曲。2025 作。New Shot)
- *JAMES TALLEY:Live From The Vaults C
(オクラホマのタルサ出身の SSW、James Talley の 2002 年イタリアでのライヴ。2025 作。New Shot)
- *TONY JOE WHITE:The Complete Warner Bros. Recordings ¥3980(税込み¥4268)
(二枚組。"Tony Joe White"{1971 年}と"The Train I'm On"{1972 年}と"Homemade Ice Cream{1973 年}の三枚+シングル曲 6 曲の全 40 曲。2015 作。Real Gone Music)
- *JEFF BLACK:Bless My Soul / Live in Italy C
(1996 年イタリアでのギター弾き語りライヴ。ナッシュビルを拠点に活動する SSW の Jeff Black のアルバムを聴くのはおそらく彼の 3 枚目の"Tin Lily"{2005 年作}以来。ギターの弾き語りであう誠実な彼の唄を聴くと「昔は良い SSW がいたなあ」とつくづく思ってしまう。彼の唄の真っ直ぐさと清々しさに心洗われる。全 19 曲。2025 作。New Shot)
- *SAMMY WALKER:Days I Left Behind C
(1986 年、Sammy Walker のイタリアでのギター弾き語りライヴ。全 19 曲。化粧なし、スッピン of Sammy Walker ソング。ギターをお伴にし、Sammy Walker 調であう彼の唄は優しく耳に心地よい。1986 年/2024 作。New Shot)
- *GUTHRIE THOMAS:Live On Stage C
(1993 年、Guthrie Thomas のイタリアでの弾き語りのライヴ。全 11 曲。彼の誠実な唄が静寂の中、生き生きと収録されていて、ギター弾き語りフォーク・シンガー/SSW としての彼本来の魅力が 100%+α 味わえるライヴ・アルバム。1993 年/2023 作。New Shot)

[LP/USA(Singer & Songwriter)]

- *KASSI VALAZZA:From Newman Street¥4780(税込み¥5258)
(注目の女性 SSW、Kassi Valazza の三枚目。No Depression 誌は本作について「上品で控えめなフォーク調で、主に Joni Mitchell

を想起させる」と表現。1970年代の陰影のある良質の女性 SSW アルバムを聴く感触。名盤誕生。2025 作。Fluff And Gravy)

*MICHAEL HURLEY: Sweetkorn ¥3580 (税込み¥3938)

(2025 年 3 月 31 日にコンサートからの帰宅時に倒れ、翌日 4 月 1 日に急逝した Michael Hurley のラスト・アルバム。本作は 2002 年に CD でリリースされた“Sweetkorn”からの 7 曲をリメイクし、新曲 1 曲を加えて LP 化したもの。Michael Hurley のヴォーカルと彼が爪弾くギターやバンジョーの音色は彼の悠々自適な個性が正に悠々と表出されていて、これぞ Michael Hurley! といった趣き。2023 作。Mississippi)

[CD/USA {Folk, Rock} 系]



(Nathan Evans Fox)

(Alison & Steve)

*NATHAN EVANS FOX: Heirloom

D

(ノースカロライナ州出身の SSW、Nathan Evans Fox {ヴォーカル、ペダル・スティール、アコギ他} の新作。今どきこんなドスの利いたヴォーカルと泥臭いフォークやロックと出遭えるとは！そのヴォーカルも唄の曲調も、ぼくの耳には Jackson Browne 風に聞こえるのだが、シンガーとしての資質は Jackson Browne というより Van Morrison やルーツロッカーのタイプだ。彼の女性バックিং・ヴォーカルを伴った深みのあるフォーク～ロックは文句なしに親近感。2026 作。Free Dirt)

※彼が紡ぐ曲は家族、信仰、労働そして継承といった要素が交錯する境界線を描き出しており、その世界観は本作で鮮烈に表現されています。サウンド面ではアパラチア地方特有の質感と精神に満ちています。彼にとってカントリー・ミュージックとは、自身のルーツである訛りを誇り、伝統と向き合いながら困難な対話を親しみ易い言葉で交わすための手段なのです。(Nathan Evans Fox のサイトより)

*ALISON BROWN & STEVE MARTIN

: Safe Sensible And Sane

D

(共にバンジョー名手の A. Brown と S. Martin のデュオ・アルバム。しかし中身はセンス抜群なバンジョーを伴奏にしたカントリー系・フォーク系・アイリッシュ系・カリブソ系のモザイク模様の SSW アルバム。招かれたシンガーは Jackson Browne & Jeff Hanna, Tim O'Brien, Jason Mraz, Aoife O'Donovan, Indigo Girls, Vince Gill, Della Mae, Jason Mraz そして Michael McGoldrick・John McCusker・John Doyle。Jackson Brown がうたえば J. Brown 節、Tim O'Brien がうたえば、T. O'Brien 節。このモザイク模様の音楽が楽しい。バンジョーをフィーチャーしたインスト曲で幕を開け、様々な唄の旅をして、最後はインスト曲で幕という構成も良い。聴き終わって清々しい気分。2026 作。Compass)

*TUCKER ZIMMERMAN: Dream Me A Dream

C

(ベルギーを拠点に活動していた米国人 SSW、Tucker Zimmerman の

ラスト・アルバム。本作は Tucker が今年の 1 月に 84 歳で亡くなる前に収録していたもの。彼のアルバムを販売するのは 40 年振りくらいだろうか。齢を重ねた Tucker のヴォーカルは渋くかつ穏やかかつ弱々しいが、それでもなお魂を奮い立たせてうたう彼の夜空の星座の物語や広大な空想物語やヒッピー時代など若かりし頃の回想等々、彼の夢馳せる唄の何と心に響くこと。
“Don’t Feel Like Doing Nothing Today”{今日は何をする気にもなれないんだ}という曲では暇つぶしの音楽にトム・ウェイツやニール・ヤングやビーチボーイズの名も登場。彼の唄に寄り添う Jackie Oates と奥様の Marie-Claire Zimmerman のハーモニー・ヴォーカルがとても優しい。歌詞を訳してみても、彼のソングライティングの巧みさと物語の展開の面白さに気付かされた。w. Jackie Oates, Marie-Claire Zimmerman, Nicholas Holton. CD-R. 2026 作。Big Potato}

※ご購入の皆さまに歌詞の対訳(船津)を差し上げます。

*DIRK POWELL: Wake

D

(ヴェテラン・フィドル&バンジョー奏者で SSW の Dirk Powell の新作。もう長い間聴いてなかった Dirk Powell。聴いて驚いた。もの凄く魅力的な SSW に成長！アメリカの白人系ルーツ・ミュージックの侘び寂び感のある音楽からロック調まで多様な音楽を柔軟に創作した上で、彼の唄は柔らかな感性全開で人間味がある。アルバム・タイトルの“Wake”には目覚めや通夜の意味もあるが、本作の解説を読んで、Dirk Powell は「航跡」の意で使っていることが分かった。航跡、言い換えれば足跡。多様なアメリカン・ルーツミュージックを操り、船旅の思い出、いとこのアルバムを制作した思い出、初恋の思い出、第二の故郷ルイジアナの思い出、ルイジアナから南の旅の思い出、離ればなれになった恋人の物語り等、人生の悲喜交々を回想するようにうたっていて、心に響く。ゲスト: Rhiannon Giddens, Darrell Scott, Kai Welch, Amelia Powell, Sophie Powell 他。2026 作。Last Music Co)

※ご購入の皆さまに Dirk Powell が書いた曲目解説の対訳(船津)を差し上げます。曲目解説には各曲への彼の深い思いが丁寧に綴られていて、音楽をより深く味わえるかと思います。唯一の他作曲(ジョージ・ハリスン作“Long, Long, Long”)の解説が面白い。

*BILL KIRCHEN: Cat Out Of The Bag

D

(Commander Cody & His Lost Planet Airmen へのメンバーだった SSW でギタリストの Bill Kirchen の新作。「激しい雨が降る」時代の Dylan のようなアルバム・タイトル曲で始まる本作。いやはやこの御仁、ブギウギ、ジャズ、ジャンプ・ブルース、ウェスタン・ウィング、カントリー、フォークなど、様々なアメリカン・ミュージックをまぜこぜにして、メチャゴ機嫌なアメリカン・ロックを体现。w. Austin de Lone, Jimmie Dale Gilmore, Rick Richard, Jack Saunders, Floyd Domino 他。2026 作。Last Music Co)

*JEFFREY MARTIN

: Alive July 25, 2025

¥3480(税込み¥3828)

(当店利用者には説明不要の SSW、Jeffrey Martin の二枚組ライブ盤。過去 4 枚のアルバムからの曲に未発表曲と新曲それに Neil Young 作“Out On The Weekend”{“Harvest”の一曲目収録}を加えた全 23 トラック{18 曲}。ギターの弾き語りによる Jeffrey 節

は最高潮。2026 作。Fluff And Gravy)

*ALENA DIANE:Who's Keeping Time? D

(若い頃から Karen Dalton 風の渋い唄は格別だったが、本作では唄が自然体で伸びやか。バンドのロックも自然体で何とも心地よい。3 曲目に Karen Dalton の名盤と同名の "In My Own Time" という自作曲が収録されているが、Karen Dalton のそれとは味わいは異なるものの、ルーツ志向の、独自の素の味わいでは通じ合う。聴くほどに味わいが増す。2026 作。Fluff And Gravy)

*GREAZY ALICE:As Times Goes By D

(リード・ヴォーカル&ギターの Alex Pianovich とハーモニー・ヴォーカルの Jo Morris 嬢にドラムスの Lee Garcia とベースの Will Repholz の四人編成だが、このデジタルの時代男女二人のヴォーカルもドラムスもベースもとにかくノホホンとして緩い。寝そべってボケーツと聴いていたくなるような音楽。聴けば聴くほど病みつき。2026 作。Loose)

*MIKE DELEVANTE:September Days D

(The Delevantes の Bob と Mike 兄弟の Mike の最新作。リッケンバッカー 12 弦の輝くサウンドをフィーチャーした Byrds 風フォーク・ロックと、高齢のはずなのに青春まっただ中の明るさと陰りと甘ずっぱさのある Mike のヴォーカル。Roger McGuinn、Byrds そして Every Brothers ファンはノックアウト間違いなしの胸キュンのフォーク・ロック。それらのファンそして西海岸ロック・ファンにとって最高の若返り剤！2026 作。New Shot)

*BILLY JOE SHAVER:Salt Of The Earth Z

(発掘 CD。テキサス出身の SSW でかつてアウトロー・カントリーの SSW で名を馳せた Billy Joe Shaver の 6 枚目。Billy Joe の息子でギタリストの Eddy Shaver との共同プロデュースによる本作は、Billy の円熟の渋いヴォーカルが味わい深いフォークと Eddy のエレキギターが光るルーツ・ロックが混在。曲数で多めのルーツ・ロック・スタイルでのアウトロー Billy の唄は気概十分。1987 年/2000 作。Sony Music/Lucky Dog)

*LARRY JON WILSON:Larry Jon Wilson C

(Larry Jon Wilson の 2009 年作。メキシコ湾を望むコンドミニアムの 15 階の部屋で、Larry Jon のギター弾き語りのみで 20 曲収録。これが滅茶苦茶素晴らしい。曲目は自作曲 6 曲に Bob Dylan, Paul Siebel, Willie Nelson, Mickey Newbury {2 曲}, Dave Loggins {2 曲} のナンバー等。ギターを爪弾き、低音のズンと来る声でうたう彼の唄は、リラックスしていて、枯淡の深い味わいがある。2009 作。Drag City)

*LIV GREENE:Deep Feeler C

(「このアルバムは完全に自伝的です」と言うライヴ録音の本作。若き女性 SSW の Liv Greene は Emmylou Harris や Kate Wolf や Gillian Welch 等の米国の女性 SSW の伝統を受け継ぎ、見事に米国フォーク・スタイルの美しい SSW アルバムを創作。唄それぞれに心が宿っていて、彼女の情感が裏返るヴォーカルで自然に生み出されている。全てが美味。2024 作。Free Dirt)

*JASON ISBELL AND THE 400 UNIT

:Live From The Ryman. Vol. 2 2890(税込み¥3179)

(二枚組。アラバマ出身の SSW の Jason Isbell と彼のバンドによるライヴ・アルバム。滅茶苦茶かっこいい西海岸ロック・スタイ

ルのルーツ・ロック。2024 作。Thirty Tigers)

*VIV & RILEY: Imaginary People C

(Viv & Riley はマルチ楽器奏者で SSW の Vivian Leva と同じくマルチ楽器奏者でシンガーの Riley Calcagno の二人とも 20 代半ば。二人は古いバラッドや伝統的な物語をリメイク等して、米国トラッド&フォークを超えた独自の感覚の音楽を生き活きと創作。2023 作。Free Dirt)

[CD/CANADA]



(Ian Tambllyn) (Mama's Broke) (Meredith Moon)

*IAN TAMBLYN: The Fragile Tangent D

(待望の Ian Tambllyn の新作。これまで大自然に身を委ねるような唄が多かったが、「ドアは開いてるよ、さあ入って」の歌詞で始まる本作は、高齢になった Ian の人生を回想する内容のアルバムになっている。音楽的には 70 年代風の土臭いフォークというかフォークロック。そうした若い頃から慣れ親しんだサウンドを背に、Ian は SSW の道を志した頃からの過去の記憶 {夢、幻想、挫折、友情、慰め、繁栄と衰退、追悼等々} を思い出深く回想するように唄う。メロディーと唄とが川の流れのようにスムーズで、発せられる言葉の一つひとつに「思いの力」が宿っていて、心の奥底に響く。最後は陶芸家の故 David McKenzie Ian {彼の作品は裏表紙と内側のデザインに使用} に捧げる唄でしめやかに幕。Ian 自身は本作のテーマの中心は“Road”と言っているが、アルバムの内容から言って「人生」と訳せよう。Ian Tambllyn は不滅。

2026 作。North Track)

※ご購入の皆さまに歌詞の対訳(船津)を差し上げます。二曲目、ミネソタからミシシッピ川を下ってブルースの故郷南部へと旅したときの「夢か幻か」の歌詞が面白い。

※サイン入りとサイン無しがあります。サイン入りをご希望の方はお申し出下さい。在庫数の関係で、ご希望されてなくてもサイン入りをお送りする場合があります。

*IAN TAMBLYN: When Will I See You Again

+ Ghost Parade 税込み 3800 円

(廃盤。“When Will I See You Again” {1980 作} と “Ghost Parade” {1988 作} の二枚組。2002 作。North Track)

*IAN TAMBLYN: Over My Head (1986 作。North Track) C

*IAN TAMBLYN: Superior - Spirit And Light C

*IAN TAMBLYN: Side By Each (2013 作。North Track) C

*MAMA'S BROKE: Reunion D

(Amy Lou Keeler {ヴォーカル、ギター、バンジョー} と Lisa Maria {ヴォーカル、フィドル、マンドリン他} の女性デュオ “Mama's Broke” の新作。10 年以上にわたり各地を旅しながら独自のスタイルを築き上げてきたという Mama's Broke の音楽はカントリー風味のサウンドも二人のソロ及びデュエットによる唄も、深

くルーツ志向で、その味わいは 1970 年代のカントリーフォーク系女性 SSW アルバムの名盤の趣。今どき、よくもこんな音楽が創れる女性シンガーが二人もいたもんだ。2026 作。Free Dirt)

※サウンド面では静かで親密な空気が流れています。焚き火を囲んだり、静まり返った小さな部屋で耳を傾けたりする場面が似合う細部の一つひとつにまで想いが込められた楽曲群です。アレンジは繊細で、無駄を削ぎ落としたシンプルなもの。そのハーモニーには、静かでありながら心に深く残り、なかなか消え去らない独特の余韻があります。それは時代を超越した響きであり、単に録音された音楽というよりは人々の記憶に刻まれたもののよう感じられます。(Mama's Broke のサイトより)

*MEREDITH MOON: From Here To The Sea

D

(Gordon Lightfoot の娘で SSW & バンジョー奏者、Meredith Moon の 2025 年作。8 歳で曲作りを始め、14 歳で独学でギターを習得。その後カナダ国内や世界各地を旅しながら真のフォーク・シンガーの流儀で紡ぐ音楽の腕を磨いたという。実際に聴く Meredith の一聴投げやりな唄は白人系フォークのルーツの味わいをにじませ、音楽スタイルも自身が爪弾くバンジョーをフィーチャーしたアパラチアン・オールドタイムを基礎にして、独自のフォーク、フォークロックを創作。プロデューサーの Colin Linden は南部志向色は控え目で、Colin 自身がヴォーカルとギターで寄り添い、かつ Meredith の個性に沿った白人系アメリカン・ミュージックの侘び寂びプラス α の音を活かす音作りで、Meredith の古びつつ骨のある真のフォークを引き立てている。父親より芯がしっかりしている。ゲスト: Jerry Douglas 他。2025 作。Compass)

*MYRIAM GENDRON: Not So Deep As A Well

D

(モントリオールの女性 SSW、Myriam Gendron の 2014 年作。「入手困難だったこのアルバムに同時期に録音された 2 曲を追加収録し、さらに充実させた」という 2023 年の再発盤。モントリオールの書店で見つけた Dorothy Parker の詩に共感し、Mariam がギターの弾き語りで淡々とうたったアルバムだが、その淡々さというか、ひっそりとした唄の雰囲気心が心に沁みてくる。1970 年代 SSW 名盤クラス。2014 年/2023 作。Basin Rock)

*MAE MOORE: Folklore

Z

(発掘 CD。環境保護活動家であり、有機農家そして画家でもあるという女性 SSW の Mae Moore の 2010 作。アコースティック・ギターの弾き語り語りかけのような唄は凄く魅力的。そうした音楽性をベースにジャズ風な味付けでしっとりしたジャズ風フォークとして結実。感性も曲のテーマもカナダ人らしい。結構胸キュン。Political License)

*RAY MATERICK: Life And Times

A

(発掘 CD。Warner 時代 {1974-1976 年} と自主制作時代 {1998-2003 年} の音源からの二枚組。シングル盤ヒット曲 "Emily" や初 CD 化曲 2 曲を含む全 24 曲。2003 作。Warner Music Canada)

[CD/CANADA {Trad}]

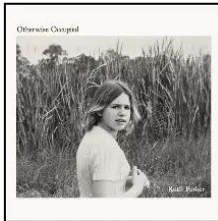
*MATTHEW BYRNE: Horison Lines

D

("Stealing Time" が大好評のニューファンドランドのトラッド・シンガーの Matthew Byrne の 2017 年作。イングランドの質の良いトラッド風で素晴らしく、Matthew のぬくもりのあるシンギン

グと相まって、心に響くフォーク&トラッド・アルバムとして結実。サイン入り。2017 作。Matthew Burn)

[LP/AUSTRALIA {SSW}]



(Ruth Parker)

*RUTH PARKER: Otherwise Occupied

(サイン入 LP) ¥4780 (税込み¥5258)

(「ヴァシュティー・バニアン風」と薦められ、本人に連絡を取って目出度く販売が実現。。正にヴァシュティー・バニアン風に唄も伴奏も素朴で自由。彼女の唄も楽器の演奏も気負いがなく、気ままな感じなのは何とも心地よい。「あなたの薫ほうきで私をかき集めて」とうたう荒唐無稽な 1 曲目や「今夜は世界との繋がりを絶ちたい」とうたうタイトル曲のほか、オーストラリアの海辺の暮らしから生まれた唄{サイクリングやドライブや船や海やビーチなどが舞台}は発想が自由で、楽しくもある。全てが等身大なのが気持ち良い。奇跡・輝石の逸品。本人が環境に配慮してラップ包装なし{封無し}。2025 作。Flippin Yeah)

※ご購入の皆さまに歌詞の日本語訳・対訳(船津)を差し上げます。

[LP/BRITAIN&IRELAND (SSW 系)]



(Mark Fry)

*MARK FRY: Not On The Radar (The Demos)

¥4780 (税込み¥5258)

(1972 年のデビュー・アルバム“Dreaming With Alice”から半世紀余り。本作は 2025 年 5 月に発売された同名アルバムのデモ音源アルバムで曲目曲順も同じ。それにデジタルのみのボーナス曲“Parallel Moon”を加えた全 11 曲。同名アルバムのお化粧を落としたというか、色彩感のあるギターの弾き語りによるシンプルな構成なのだが、このシンプルさが彼の夢想的で抒情的な唄の深い味わいを高めていて、心の奥底にやんわりと響く。齢を重ねてもなお、感受性豊かな唄に深く感動。奇跡の逸品。ブリティッシュ・フォーク/シンガー&ソングライター・アルバムの名盤誕生。限定発売。2025 年 12 月作。Second Language Music)

※Mark Fry 作成の歌詞カード(A4 用紙 6 ページ分)と Mark Fry 自作の絵はがき(サイン入り&ショートメッセージ付き)を差し上げます。

*CHRIS BRAIN: Red Sun Rising ¥4780 (税込み¥5258)

(サイン入り。Chris Brain の四枚目。2026 作。Big Sun)

※歌詞の対訳+各曲のギターのチューニングをプリントして差し

上げます。

[CD/BRITAIN&IRELAND (SSW 系)]



(Iain Matthews)

*IAIN MATTHEWS & THE WILD VERBAND:Return to
Tupper Street (Valley Hi Reimagined) C

(Iain Matthews がバンドを組んで 1973 年作の名盤“Valley Hi”
を新たにレコーディング。言うなれば“Valley Hi”の 2026 年版。
オリジナル版と 2026 年版の違いは、例えばディランの唄なら、
アコースティック・ヴァージョンと Bob Dylan & The Band の
フォーク・ロック・ヴァージョン、或は Fotheringay のフォーク・
ロック・ヴァージョンほどの違いがあって、それに伴って驚き、
その後感動がある。このプロジェクトに協力を求めたミュー
ジシャンは現 Southern Comfort の B. J. Baartmans {エレキ&ア
コギ、ベース、バックグラウンド・ヴォーカル} と Sjoerd Van
Bommel {ドラムス}、そしてかつて Iain Matthews Trio の一員だ
った Mike Roelofs {ピアノ、ハモンドオルガン} の三名。2026 年
版は Iain のヴォーカルは自信に満ちて堂々とし、バンドの音楽
は骨太で底力があって、ポジティブで活力がみなぎっている。
彼らが一体となり体现した音楽は、Mike Roelofs のオルガンが
“Southern Comfort”な味わいを添えるなど、南部志向ロック風
フォーク・ロック。オリジナル版は「青春のうつろい」が魅力だ
ったのに対し、2026 年版は「老練の不屈さ」が魅力か。イアン・マ
シューズは今が旬。2026 作。MIG Music)

*MATTHEWS SOUTHERN COMFORT:The New Mine C
(2020 作。MIG Music)

*MATTHEWS SOUTHERN COMFORT:The Woodstock Album C
(2023 作。Must Have Music)

*IAIN MATTHEWS & AD VANDERVEEN
:Greetings From Grolloo C
(2003 年 3 月 1 日、Iain Matthews とオランダの SSW の Ad Vanderveen
の共演ライブ。Iain Matthews の音楽は SSW の原点に戻ったかの
ような、ギターの弾き語りによる素直な唄ばかり。Ric Sanders
が二曲で飛び入り共演。2003 年/2024 作。Radz)

*CHRIS BRAIN:Red Sun Rising D
(Chris Brain の四枚目。2026 作。Big Sun)

※歌詞の対訳+各曲のギターのチューニングをプリントして差し
上げます。

*NIALL McCABE:Stranger C
(メイヨー沖のクレア島出身の SSW の Niall McCabe。本作は彼の二
作目。アイルランド出身の SSW としては近年ではピカー。Paul
Brady や Van Morrison のヴォーカルのニュアンスを保持した彼
のヴォーカルはすこぶる魅力的な上に、島での人とのふれあい
の中から生まれた悩み多き青春の唄～自問自答的、自省的～の

数々は、島の空気感とともに感情移入が豊かで、深く心に響く。

2025 作。Niall McCabe)

※ご購入の皆さまに本人がネットで公開している“Crescendo”,
“Stranger”, “I’m Wrong”三曲の英語歌詞と対訳(船津)を差し上げ
ます。

*BROWN HORSE:Total Dive

D

(Patrick Turner{ヴォーカル、ギター}, Nyle Holihan{ギター、ベ
ース他}, Emma Tovell{ラップ&ペダル・スティール他}, Rowan
Braham{オルガン、ピアノ}にドラムスの Ben Rodwell とバッキン
グ・ヴォーカルの Neve Cariad を加えた米国カントリー&ルーツ
ロック風バンド“Brown Horse”の新作で三枚目。Patrick の微妙
に揺れるヴォーカルは絶好調だし、荒削りで重厚なロックも絶
好調。2026 作。Loose)

*DAVID LEWIS:No Straight Line

A

(発掘 CD。30 年前のベストセラー。Andwella の David Lewis では
ない心優しい SSW の David Lewis の 1995 年作。パッケージには
「Nick Drake と Robin Williams の間の英国フォークの伝統の系
譜に連なる際立った唄たち」のシール。爽やかなアコースティッ
ク・サウンドと David の内省的な唄はやんわりと心に響く。

Produced by John Wesley Harding & Scott Mathews。DEJADISC)

*SIMON HAWORTH:Taking Routes

A

(発掘 CD。Jez Lowe の Bad Pennies のメンバーでもある SSW でギ
ター奏者の Simon Haworth の 2003 年作。唄もアコギの音色も英国
の香りに充ちたブリティッシュ・フォークの逸品。w. Steve
Lawrence, Andy May, Rachel Unthank 他。「今年最高のリリースの
ひとつ」{Living Tradition}。Fellside)

*THOM ASHWORTH:Head Canon

A

(Folk Radio は「現代の Martin Carthy」と絶賛するイングランド
のトラッド・シンガーの Thom Ashworth の 2019 年作。Thom の見事
なシンギングに骨抜き。Thom Ashworth)

*JASON O' DRISCOLL:Dharma

Z

(アイルランドの SSW の Jason O'Driscoll の 2003 年作。素直で緩や
かな唄が心地よい。2003 作。Jason O'Driscoll)

[CD/FAIRPORT&FRIENDS]

*DAVE WHETSTONE:Winding To You

B

(元 Albion Band のアコ奏者の Dave Whetstone が Albion の仲間や
その仲間の仲間と制作したいわば Albion Band & Friends によ
る本作。参加したミュージシャンは Polly Bolton, Cathy Lesurf,
Simon Nicol Dave Mattacks, John Tams, Graeme Taylor, Benji
Kirkpatrick, Michael Gregory, Blair Dunlop, Judy Dunlop,
Peter Bullock, Martin Brinsford, John Shepherd。演奏の主体
は D. Whetstone のダンサブルなアコとギタリストの Graeme
Taylor の多彩なエレキ&アコギ。イングランドのダンス・バンド
の音楽とフォーク・ロックの旨みが伸びやかに創出。まるで同窓
会に参加した気分。2026 作。Talking Elephant)

*RALPH McTELL & DAVE PEGG:The Old Pals Act

E

(Ralph McTell のレコーディング等を通じて 50 年以上友人同士の
Ralph McTell と Fairport の Dave Pegg のデュオによるライブ・ア
ルバム。全 15 曲中 Dylan の“One Too Many Mornings”と Woody

Guthrie の“Pretty Boy Floyd”以外は R. McTell の曲。R. McTell の声量は衰え知らずで、彼特有の抒情も不変。むしろ彼の歌心と唄の素の味わいとがじっくり味わえる感じだ。観客の拍手もあたたかい。至福のライブ。2025 作。Matty Grooves)※この商品は封(シュリンクラップ)なし。

*FAIRPORT CONVENTION:A Live Recording - UK Tour

October 2023

D

(2000 枚限定盤。Chris Leslie{収録時 68 歳}, Dave Pegg{77 歳}, Ric Sanders{71 歳}, Simon Nicol{72 歳}から成る高齢者バンド Fairport のアコースティック・ライブ。Crosby Stills & Nash を彷彿させるさわやかハーモニーといい、軽快な唄といい、ダンサブルな軽快サウンドといい、その若々しく爽やかな音楽に気分爽快。全 17 曲。2024 作。Matty Grooves)※この商品は封(シュリンクラップ)なし。

*ANNA RYDER:Pockets On Fire

A

(Anna Ryder は感性豊かで個性的な女性 SSW。バックを務めるのは Fairport Convention{Dave Pegg, Gerry Conway, Simon Nicol, Ric Sanders, Chris Leslie, Gerry Conway}の面々他。Produced by Dave Pegg, Mark Tucker and Anna Ryder。1999 作。Woodworm)

*DAVID CARROLL AND FRIENDS:Bold Reynold

B

(David Carroll と Fairport&Gryphon の選抜メンバーとによる David Carroll & Friends の一枚目。David Carroll の心優しい人間性と Fairport や Gryphon の音楽への愛が詰まった心豊かなフォーク・ロック。2023 作。Talking Elephant)

*SDP:Vol Two

B

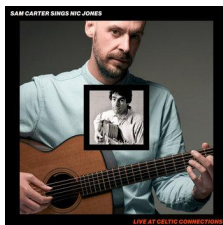
(SDP{Sandy Denny Project}は Tradarr の Marion Fleetwood, Gemma Shirley, PJ Wright, Mark Stevens+Sally Barker{再結成 Fotheringay, Poozies}のスーパー・フォーク・ロック・バンド。本作は二枚目で、Sandy Denny ソングを Tradarr 流に新たな英国フォーク・ロックで創作したもの。Fairport, Fotheringay ファン必聴！2024 作。SDP)

*TRADARR:Cautionary Tales

B

(Sandy Denny Project の Marion Fleetwood, Gemma Shirley, PJ Wright, Mark Stevens に Gregg Cave, Guy Fletcher, Brendan O'Neill の七人組フォーク・ロック・バンド“Tradarr”の 2015 年のデビュー・アルバム。ゲスト: Dave Pegg, Chris Leslie, Rick Sanders, Jerry Donahue。Hedge Of Sound)

[CD/ENGLAND]



(Sam Carter)

*SAM CARTER:Sings Nic Jones

D

(副題“Live At Celtic Connections”。BBC のフォーク賞受賞歴のある SSW でありギタリストの Sam Carter の 2026 年の Celtic Connections でのギター弾き語りのライブで、“Nic Jones ソング

集”全13曲。ジャケットは表も裏も“Penguin Eggs”からの意匠。イングランド・スタイルのフィンガーピッキング・ギタリストとして評価の高い彼の Nic Jones 模倣ギターはそれだけで Nic Jones の面影を放ち、英国トラッドの香りをふりまく。Sam の唄はトラッド風ではないが、伸びやかな声が素晴らしく、聴き親しんだ Nic Jones 風ギターと曲の魔力に後押しされて、Sam Carter による「ニック・ジョーンズ・ソング・アルバム」として確かな輝きを放っている。パッケージは開封簡易収納ジャケット仕様 [LP ジャケット風] と簡素だが、音楽は絶品。2026 作。Sam Carter)

※CD には歌詞カードが付いていません。タムボリンで作成の歌詞カード(英語版)を差し上げます。

*MAGPIE ARC:EP1, EP2, EP3

D

(2022 年のデビュー・アルバムの前に発売された Magpie Arc ~ Martin Simpson, Nancy Kerr, Findlay Napier, Alex Hunter, Tom A. Wright ~ のオリジナル・メンバーによる EP 三枚セット。各 4 曲の計 12 曲。Collective Perspective)

*SIMON MAYOR & HILARY JAMES:Duos

A

(発掘 CD。マンドリン名手の Simon Mayor と小鳥の囀りのように軽やかな唄が魅力のシンガーでギター奏者の Hilary James のライブ。英国トラッドのみならず様々な曲を演唱するが、変幻自在なマンドリンの演奏と軽やかな唄が素晴らしく、英米の古い音楽を旅する気分。2001 作 Acoustics)

※“Duos”はヴォーカルとマンドリンによる名盤です。ライブ・パフォーマンスならではの喜びや熱気がこれほど見事に捉えられたアルバムは他に類を見ません。選曲は実に多彩でその構成も絶妙です。Simon Mayor は真のマンドリンの天才であり、その楽器に命を吹き込み、生き生きと響かせることができます。そこに Hilary James の素晴らしい歌声が加われば、まさに音楽の至福の境地が広がります。(Cultural Arts Magazine “Rambles”より)

*GEORGE SANSOME & MATT QUINN:Sheffield Park

D

(Granny's Attic の G. Sansome {ヴォーカル、ギター} と Dovetail Trio の M. Quinn {ヴォーカル、マンドリン} のデュオによる 2023 年作。極上の男性トラッド・シンギング・アルバム。Grimdon)

*GRANNY'S ATTIC:Cold Blows The Wind

D

(若手屈指のトラッド・シンガー、Cohen Braithwaite-Kilcoyne {ヴォーカル、メロディオン、コンサーティーナ} と、これまた若手屈指のトラッド・シンガー、George Sansome {ヴォーカル、ギター} にフィドル奏者の Lewis Wood を加えたトリオ “Granny's Attic” の 2025 年作。お祖母さんの屋根裏部屋? で見つけ出したお宝バラッドや伝統曲を生き活きと蘇生。ワンランク上の英国トラッド。Grimdon)

*DAMIEN BARBER・MIKE WILSON:Under The Influence

Z

(発掘 CD。Damien Barber {ヴォーカル、コンサーティーナ、ギター} と Mike Wilson {ヴォーカル} の二人のトラッド・シンガーによる 1970 年代英国トラッドの名盤を思い起こさせる英国トラッドの快作。2009 作。Demon Barber Sounds)

*JON BODEN & THE REMNANT KINGS:Parlour Ballads

C

(Jon Boden の本作はビクトリア朝時代に全盛期を迎えたパーラー・ソング {バラッド} をタイトルしたアルバム。フォーク・ソングとしてピアノを奏で、やや感傷的に朗々とうたう。感動はジャ

ンルを超える。Produced by Andy Bell。11 曲。2024 作。Hudson)

*JON BODEN: Songs From The Floodplain A

(デラックス・エディション限定盤。2009 作。Navigator)

*CHRIS MANNERS

: Bar Doors And Bang The Shutters Down C

(英国の SSW でギター奏者の Chris Manner の四枚目。1970 年代以降数多くのギター弾き語りのフォーク・シンガーが産声を上げ、20 世紀後半の英国フォーク・シーンを盛り上げてきたが、彼のシンギングとギターはその時代の英国フォークの味わいと魅力を律儀に保持していて、時代錯誤感に襲われる。独自のフォークを英国フォーク的に気高く美しく花開かせている。15 曲。ゲスト: Jon Loomes。2024 作。99YRCD04)

*THE ROSIE HOOD BAND: A Seed Of Gold C

(偽りの愛の物語“The Swallow”で幕開けする Rosie Hood Band ~ Rosie Hood {ヴォーカル、ギター、ウクレレ、フィドル}、Nicola Beazley {フィドル、ヴォーカル}、Rosie Butler-Hall {フィドル、ヴォーカル}、Robyn Wallace {メロディオン、パーカッション、ヴォーカル} ~ の新作はイングランドの美しき女性トラッド・シンガー・アルバムの魅力に充ち満ちていて、心奪われる。2023 作。Little Red)

[CD/SCOTLAND]



(Spell Songs)

*SPELL SONGS “In Thin Air” ¥6300 (税込み¥6930)

(9 月 20 日頃入荷予定。デラックス CD ボックスには CD、ダウンロードコード、ハードカバーの書籍、クロウタドリの巣をモチーフにしたアートカード、そしてジャッキー・モリスが本作のために描き下ろした『Blue Migration』の折り畳み式アートワーク等が収納。参加メンバーは Julie Fowles, Karine Polwart, Rachel Newton, Kris Drever, Jim Molyneux, Beth Porter, Seckou Keita の七名。2026 作。Hudson)

※メンバー全員がヴォーカルを担当し、曲の作詞・作曲にも何らかの形で関わっています。フォークやルーツ・ミュージックの分野で屈指の才能を誇る彼らはその野心を驚くほど軽やかに体现し、唄の題材となったものたちと同じように軽やかに舞い上がり、高揚していくような楽曲を生み出しています。アルバムの幕開けを飾る表題曲は鳥のさえずりのフィールド・レコーディングから始まり、静かに語られる言葉、柔らかな鍵盤の音色、そして抑えられた響きの弦楽器と溶け合っていきます。(KLOFmag より)

*CALUM MARTIN: An Dealachadh Z

(発掘 CD。スコットランドのゲール語 SSW の Calum Martin の 2010 年作。本作では Royal National Mod の “Gaelic Song” 部門で金賞受賞の Isobel Ann が大半の曲でソロ & バッキング・ヴォーカルで参加。本作はトラッド調からフォーク調そしてフォーク・ロック調と音楽性の幅が広い。唄はゲール語と英語混在で、ゲール後

の唄はゲール語歌詞に英訳が付いている。Ridge)

*ANDREW WARREN:The Power and the Passion Y

(発掘CD。ピアノアコーディオン、ハイランドバグパイプ、スコティッシュ・スモールパイプをフィーチャーした琴線に触れるスコティッシュ・ミュージック。「曲のほとんどは Andrew Warren によって作曲・編曲されています。この CD の副題は“Contemporary Accordion & Pipe Music”ですが、彼は自身の音楽的ルーツを見失うことなく、スコットランド音楽の本質に新鮮さと軽快さをもたらしています。ミュージシャンたちは息がぴったりでアレンジも素晴らしいので、注意深く聴く人は聴くたびに新しい刺激的な何かに出会うでしょう。非常に賞賛に値する作品です」[Living Tradition]。2004 作。Shielburn Associates)

*UP IN THE AIR:Moonshine Z

(Up In The Air は、Old Blind Dogs の創設メンバーの二人の Jonny Hardie{フィドル、ギター、ヴォーカル}と Davy Gattanach{ハーカッション、ギター、ヴォーカル}に Iron Horse の Gavin Marwick{フィドル}のスーパー・トリオによる 2012 年のアルバム。Up In The Air)

*COAST:The Turning Stone Z

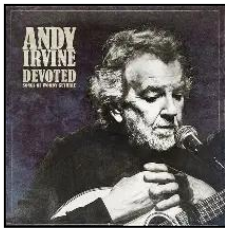
(Runrig クラスのフォークロック・バンド。Paul Eastham のヴォーカルも抜群。ゲスト:Duncan Chisholm。2011 作。Ruabhal)

[CD/WALES]

*RAG FOUNDATION:Minka Y

(発掘CD。Rag Foundation~Neil Woollard{ヴォーカル}、Kate Ronconi-Woollard{フィドル、ヴォーカル}、Richard Cowell{ギター}~の 1999 年の一作目。曲目は英語とウェールズ語の伝統歌だが、Neil のヴォーカルは吟遊詩人風で独特な味わいで心に響き、Richard のブリティッシュ・スタイルの端正で美しいギターと Kate の素朴で詩情感あるフィドルは独自の不思議感のあるブリティッシュ・フォークを創作。ゲスト:Andy Cutting, Nigel Eaton, Julie Murphy, Ceri Rhys Matthews。Fflach)

[LP, CD/IRELAND]



(Andy Irvine)

*ANDY IRVINE:Devoted”(Songs Of Woody Guthrie)

(LP) ¥4980 (税込み¥5478)

(CD) D

(アンディ・アーヴァインが 60 年以上にわたり、ウディ・ガスリーの作品を研究してきた成果として、本作の構想は少なくとも 30 年前から温められてきたという。全曲ウディの唄だが、アンディがブズーキやマンドーラを爪弾き、時にハーモニカを吹きながらうたえば、アンディ節に変色する。共演者は Ushers Island と Mozaik からの選抜メンバーという感じのアイリッシュ&ケルティックミュージックの凄腕ミュージシャン達。音楽は自ずとそ

の色彩を帯びよう。しかし信頼の置ける旧友達でもある共演者達はフォーク・シンガーとして初心にかえったかのようなアンディのひたむきな唄に寄り添う「伴奏とバックিং・ヴォーカル」に徹していて、アンディの唄をより味わい深くしている。アンディの心はウディが生きた時代にタイムスリップ。締めくくりはアンディの十八番の“Never Tire Of The Road”。ウディは「自分の足で俺以上に旅してきた男はいないだろう」と述べている〔曲目解説より〕。アンディは自分の人生と重ね合わせて、この唄をうたっているのだろう。アンディ本人はラストアルバムのつもりなのでは？ 2026 作。The Last Music Co.)

※ご購入の皆さまに、ウディ/ガスリー研究の第一人者のウィル・カウフマンとアンディの共同解説による曲目解説の対訳 (A4 用紙 6 ページ) をお付けします。

[CD/IRELAND 系]

デジパック・タイプを含め、元々開封されているものが多数あります。



(Lasairfhiona) (Deirdre & Aoife) (Niamh O'Brien) 。

*LASAIRFHIONA: Mo Róisín Dubh (サイン入り) D

(9 月 20 日頃入荷予定。久し振りのラーラリーナの新作です！以下ラーラリーナから送られてきたプレスリリースの要約です。※本作は 2019 年に録音が始まりましたが、世界的なパンデミックの影響で制作が中断を余儀なくされました。やがて適切な時期が訪れると、彼女は再びスタジオへと戻り、新たな深みと視点を作品にもたらししました。そうして完成した本作は困難を乗り越える力 (レジリエンス)、内省、そして芸術的な明晰さが形作るアルバムとなっています。

本作は完全に今を感じながらシャンノースの曲を演奏するラーサリーナの稀有な能力を示しています。“An Gaisideach Bán”や“Mo Róisín Dubh”などのシャンノース・ソングの素晴らしい曲だけでなく、このアルバムには彼女がパンデミック中に作曲した癒しの曲“Imeall Órga”や、このジャンルの新鮮な解釈を提供する遊び心のある軽快な曲“Ar Ais Aris/Back Again”も含まれています。アルバムには素晴らしいギタリスト、Steve Cooney が参加しています。彼の伴奏はラーサリーナ作曲の曲“Thar Farraise/Over The Ocean”を美しく引き立て、コネマラの伝統的な活気のある唄“Bródach Uí Ghaora”を引き立てています。

*DEIRDRE AND AOIFE GRANVILLE: Ceo Draíochta E

(ディングル出身の Aoife Granville {フルート、ヴォーカル、フィドル、リコーダー} & Deirdre Granville {ハーブ、ヴォーカル} 姉妹のアイリッシュ・アルバム。ちなみに Aoife は UCC の民俗学・民族学部の教師でアーツカウンシルの理事、Deirdre はハーブ・アイルランドの理事。曲目は主に西ケリー地方の音楽を集めてものだが、曲の多くは「グッドマン・マニユスクリプト」からの曲で、

その多くはこれまでに録音されたことない曲。ハープとは相性の良いフルートとのデュエット曲のインスト曲とハープの伴奏による姉妹のソロ&デュエットのヴォーカル曲を織り交ぜた構成だが、姉妹のシンギングはヴェテランのトップ・トラッド・シンガーの味わいで、二人の自然なシンギングが心地よく、どの唄もアイリッシュ・トラッド・ファンの琴線に触れる味わいを醸し出している。聴き終わって、郷愁に襲われる気持ちになる。ハープ・ソロが一曲。その曲“Maidin Aoibhinn Aorach”はしんみりとした曲調が心に沁みる。20026 作。Deirdre & Aoife Granville)

*NIAMH O BRIEN:Ag Iompar Fuaime

D

(CD ブック型 CD パッケージ。アイリッシュハープ奏者&シンガー、Niamh O'Brien のデビュー・アルバム。Niamh は伝統的ハープ奏者として、かつフォーク&トラッド・シンガーとしても清楚な歌声が魅力的。加えて鳥のさえずりや生活の音を入れたり、亡き祖母の語りや言葉遊びにハープの伴奏を付けるなど創作音楽家として才能が豊か。一曲目はハープと Paddy Alice Benson のイリアンパイプスと Tommy Hayes のパーカッションと AI アコによるボルカ。ハープの早弾きが絶妙で、ハープとイリアンパイプス他によるアイリッシュ・トラッド{セッション}の心髄に迫ったのち、彼女自身の記憶や思い出や記録からインスピレーションを得て、ハープと唄をフィーチャーし、創作したアイリッシュな「音の風景」音楽が魔法のように展開する。最後は“Slán le Maigh”というアイリッシュ・トラッド{ソング}の心髄に迫る別れの唄{ゲール語}で幕。この唄を Niamh は鳥たちがにぎやかにさえずる中で、しみじみと弾き語りする。鳥の鳴き声が悲しさを膨らませる。心の奥底に響くアイリッシュ。2026 作。Farpoint Recordings)

※“Slán le Maigh”は Aindreas Mac Craith(1709-1794) 作のゲール語の唄で、馴染みの土地や大切にした生活に別れを告げる心情がうたい込まれている。歌詞はヘザーや木々や丘、そして女性の左手に広がる光景に別れを告げ、続いて、女性が残していくもの(地位、富、栄光そして人々)が次々とうたい込まれ、そして自分の思いや感情を表現する権利さえも手放していくというストーリー。涙無しには聴けない。

*FIANA NI CHONAILL:Something Old Something

E

(リムリック出身のアイリッシュハープ奏者 Fiana の 10 年振りの新作で通算二枚目。本作は伝統的な曲と Fiana を含めアイルランドの演奏家作曲の曲を織り交ぜた選曲、かつジグ、リール、ホーンパイプ、スローエアー、ワルツ、マーチなど様々な曲調の曲が収録。不思議なのはそれらの曲がまるで連なった曲のような印象を持つこと。演奏技術が高く表現力が豊かなこと、曲への愛情が深いこと、そして曲の並びが絶妙なことなどが相互作用して、感動の度合いが深い。2026 作。Fiana Ni Chonail)

*CUAS:Cuas

C

(Méabh Ní Bheaglaoich{ヴォーカル、アコ}, Nicole Ní Dhubhshláine{コンサーティーナ、フルート}, Kyle Macaulay {ギター、ブズーキ}, Niamh Varian-Barry{ヴォーカル、フィドル他}から成るアイリッシュ・グループ。Méabh & Niamh の清楚なシンギングに加え、アイリッシュの躍動感にうち満ちていて、大盛り上がり。2024 作。Cuas)

*CAITRIONA NI CHEANNABHAIN:Solos

A

- (発掘CD。トラッド・シンガーの Michael Mháire Ghabha
ó Geannabháin の娘でシャンノース・シンガーの Caitríona の 2011
年のソロ。w. Pat Coyne, Sean Keane, David Doocey, Stephen
Doherty, Peter Gannon 他。Caitríona Ní Cheannabháin)
- *O' STRAVAGANZA: O' stravananza Z
(発掘CD。Nollaig Casey, Emer Mayock, Ronan Le Bars, Robert
Harris, Brenda Mayock 等のアイリッシュ・ミュージシャンと
Myrdhin, Isobelle Oliver のフランスのケルティック・ハーブ
奏者がバロック楽団と共演したバロック風アイリッシュ。これ
が結構面白い。リバーダンスの音楽のような醍醐味。Produced
by Hughes De Courson & Youenn Le Berre。2001 作。EMI)
- *ALAN BURKE: On The Other Hand Z
(発掘CD。リリース時ダブリンを拠点に活動していたフォーク
& トラッド・シンガーでギター奏者の Alan Burke の 1997 年作。
アイルランドのトラッド曲を中心に Richard Thompson や Tim
Woods それに自作曲を含む本作は Alan の伸びやかなヴォーカル
と Alan の英国トラッド調のギターが魅力的で、かつ英国トラッ
ドとアイリッシュ・トラッドが自然にブレンドされた音楽が魅
力的。アイリッシュ・ファンのみならず、ブリティッシュ・フォ
ーク・ファンにもお薦め。w. Dezi Donnelly {フィドル}, Francis
McIluff {イリアンパイプス、ローホイッスル}, John Harris
{エレキギター}。Gurug)
- *MICK MULVEY & SHANE MEEHAN: The Missing Guest E
(フルートとフィドルの演奏において、北コナハトの名手達の演
奏を彷彿させるフルートとフィドルによる最高レベルのアイリ
ッシュ・ミュージック。ゲスト: John Blake, Joe Kennedy, Matt
Mulvey。10 年以上の共演経験を経て創作された至福の全 15 トラ
ック {42 曲}。2025 作。(Coolathma CD3)
- *DAIRE BRACKEN & LORCAN MacMATHUNA: Preab Meadar B
(ゲール語シンガーの Lorcan MacMathuna と Slide の創設メンバー
で元 Danu のフィドラーの Daire Bracken のデュオ・アルバム。本
作は 600 年から 1600 年のゲール語の詩を源泉とした自作曲とそ
の時代の詩に曲を付けたもので、Lorcan シンギングやリルティ
ングは過去に生きた人びとの魂の歌声にも聞こえる。また相方
Daire の演奏は唄の伴奏を超えた即興的演奏で、響き合ってい
て、感動的。2014 作。DBLM01)
- *ELIXIR: Elixir C
(録音は 1983 年 10 月と 1984 年 3 月。本作はブルターニュのシンガ
ーでティンホイッスル、フルート奏者の Pol Huellou の呼びかけ
で集まったミュージシャンによるセッション・アルバム。集った
のは Liam Weldon {ヴォーカル}, Sean Howley {ブズーキ}, Brian
O'Donoghue {ギター}, David Hopi Hopkins {パウロン} の四名。呼びか
け人の Pol Huellou のティンホイッスルの演奏が素晴らしく、ブ
ズーキ、ギター、パウロンの演奏も誘発されるように見事な演奏
を繰り広げる。Liam Weldon の貴重シンギング二曲収録。1984 年
/2021 作。Goasco Records)
- *TEADA: Coisceim Coiligh B
(ゲストに Séamus Begley {4 曲参加} を迎えて制作された Teada の
結成 21 周年を祝う 2022 年作。フ最高のアイリッシュ! Gael Linn)
- *THE LARK ON THE STRAND: The Lark On The Strand C

(本作は 2000 年一月に Sesoaimhín Ní Bheaglaíoch {Macalla/ガ
ーカル}, Charlie Piggott {De Danann/アコ}, Peter Browne {1691,
Bothy Band [Paddy Keenan の代役] /イリアンパイプス}, Gerry
Harrington {フィドル} が "The Lark On The Strand" の名でアイル
ランド・ツアーをしたときのライヴ・アルバム。全 34 曲!
2000 年/2022 作。LOTS001CD)

*PADDY KEENAN・TOMMY O' SULLIVAN

:The Long Grazing Acre Z

(Bothy Band の創設メンバーでにイリアンパイプ奏者の Paddy
Keenan とギリスト兼シンガーの Tommy O'Sullivan のコラボ・アル
バム。2001 作。Hot Conya)

*3 TRIUR:Omos

Y

(Peadar O Riada {コンサーティナ}, Caoimhin O Raghallaigh {ハルディンク
フェル}, Martin Hayes {フィドル} のスーパー・トリオ "3 Triur" の三枚
目。全 14 トラック。2013 作。Peadar O Riada)

[CD/SWEDEN, FINLAND]



(Lena & Johanna)

*LENA JOHNSON & JOHANNA JUHOLA

:The Power of Polska D

(スウェーデンのフィドル界を代表する名手とフィンランドの革
新的アコ奏者による滅茶苦茶素晴らしい北欧トラッド。2026 作。
Nordic Notes)

※Lena Johnsson と Johanna Juhola は力強いメロディー、躍動感あ
ふれるリズムそして遊び心のある即興演奏によって、新鮮で軽やか
なサウンドを創り出しています。

本作はスウェーデンやフィンランドのフォーク・ミュージシャン
に愛される「ポルスカ」が持つ抗いがたいエネルギーと遊び心あふ
れる精神を称える作品です。彼女達にとってポルスカは喜びと遊び
に満ちた音楽の遊び場であり、幾重もの層や多様なヴァリエーショ
ンそして驚きに満ちた空間でもあります。このデュオはフォーク音
楽の伝統を新鮮かつ躍動感あふれる手法で探求しつつ、楽曲の構成
を即興的な表現へと昇華させていきます。本作はオリジナル曲とト
伝統曲を織り交ぜた構成となっていて、その一つひとつに二人の好
奇心と遊び心が映し出されています。(Lena Johnsson と Johanna
Juhola のサイトより)

[CD/FINLAND]

*EMMI KUITTINEN:Surun Synty

C

(フィンランドのカレリア地方とイングリア地方の歌唱スタイル
を専門とするトラッド・シンガーの Emmi Kuittinen の 2023 年作。
フィンランド音楽賞の "Emma Gaala" で年間最優秀フォーク・ア
ルバムにノミネートされたという本作。本作「悲しみの誕生」は
フィンランドの民族楽器の素朴な響きと Emmi の悲哀感のある

シンギングは、本作のタイトルそのままの印象で、古き時代の
フィンランドの家庭にタイムスリップしたかのよう。

Nordic Notes)

*SALAMAKENNEL: IV

C

(1989 年、1990 年、1992 年に枚のアルバムをリリースした後にバン
ド活動を停止していた Salamakennel ~Arto Järvelä {フィドル、マン
ドリン、ニッケルハープ}、Hannu Saha {カンテレ}、Kimmo Käsälä {ベース}、新加
入の Antti Kettunen {アコギ、エレキ、ギター、ベース} の 30 数年振りの新作。
メインは Arto Järvelä。Arto はフィンランドの伝統的フィドル
音楽を愛しむように演奏し、共演メンバーが響演するスタイル
で、カンテレの大家 Hannu Saha のカンテレと Antti Kettunen の
ギターが爽やかさを添えている。ゲスト: JPP, Jonna Tervomaa
{ヴォーカル}。2024 作。Bafe's Factory)

[CD/SWEDEN]

*ULRIKA BODEN: Ratt Nu Ar Det Pa Tiden

B

(発掘 CD。約 20 年前のベストセラー。今更説明の必要のない
Ranarim のヴォーカルの Ulrika の 2004 年作の二作目。本作は彼
女のオンゲルマンランド地方の豊かな音楽的源泉を掘り下げて
いて、Ranarim の仲間の Jens Engelbrecht {ギター}、Anders
Norudde {フィドル、フルート}、Mikael Augustsson {アコ} を迎え、
トラッド・ファンにとって理想のスウェーディッシュ・トラッド・
アルバムを創作。今聴いても感動の嵐。Drone Music)

*LJUS OCH LYKTA: Ljus Och lykta

A

(女性三名と男性一名の四人組トラッド・バンド "Ljus Och
lykta" の爽快デビュー・アルバム。曲目のほとんどはスウェーデ
ン舞台芸術庁のアーカイブのコレクションで見つけ出したトラ
ッド曲で、彼らは若々しく自由闊達なソロ・シンギング & ポリフ
ォニックなハーモニーでスウェーデンの伝統歌を再現する。フ
レッシュな北欧トラッド。2022 作。Caprice)

*HOVEN DROVEN: Trad

Z

(Trad と題された Hoven Droven の 2021 年作。1989 年結成以来、30 年
以上にわたってスウェーデン・スタイルのフォーク・ロックを果
敢に創作してきた彼らが初心の帰りつつ、腕を上げた演奏力と
表現力で取り組んだ 30 周年記念アルバムの性格の快作。Heilo)

[CD/NORWAY {SSW}]

*JUNI HABEL: Evergreen In Your Mind

C

(ノルウエーの SSW、Juni Habel の三年振りの新作で通算 3 枚目。
前作 "Carvings" は静かな衝撃作だったが、自身が爪弾く耳に心
地よいギターの音色と物静かで夢見心地な彼女の唄は本作でも
健在。「グルーヴ感をより重視した」「遊び心も取り入れた」との
本人の言葉通り、彼女の唄は物静かな夢見心地感の中に、余韻を
楽しむようなグルーヴ感が生まれている。唄はあこがれや夢見
る世界や過ぎ去りし日の思いなどだが、その夢想的かつ詩情豊
かな歌詞は彼女のヴォーカル & 音楽と見事に溶け合っていて、
彼女独自の世界を創り出している。まるで「真夏の夜の夢」気分。
ジャケットを開けばノルウエーの荒涼とした風景。奇跡・輝石
の逸品。「Nick Drake、Karen Dalton、Neil Young のファンなら、
暖炉のそばで一人で過ごす夜のようなこの音楽作品を大いに楽

しめるだろう」[The Times]。2026 作。Basin Rock)
※ご購入の皆さまに歌詞の対訳(船津)を差し上げます。

[CD/NORWAY]

*TRITULEN: Tritulen B
(Tritulen は Ebba Jacobsson がヴォーカルの女性 2 名と男性 1 名の
トラッド・グループ。ノルウェー西海岸の伝統曲を中心にした選
曲で、Ebba のシンギングもフィドル、ギター、アコの演奏も極北
トラッドの薫りを発するが、ストイックな極北性ではなく、穏や
かで牧歌的な極北性。Ebba のシンギングは新緑の森の中を口ず
さみ散歩するような爽快気分のシンギング。2012 作。
Etnisk Musikkklubb)

[CD/DENMARK {Irish}]

*BONEZONE: In Session Z
(発掘 CD。2002 年、米国で開かれたコンテストのボーンズ部門世
界チャンピオンの Yirdy Machar {ヴォーカル、ボーンズ、スプー
ン}の元に集まってアイリッシュ・セッションしたアイリッシュ
仲間による 2007 年作。当時デンマークのシーランドという島の
森の中で暮らしていたという Yirdy はボーンズの超絶演奏を買
われ、Phil Cunningham & Aly Bain や Dubliners や Dervish 等の
コンサートにゲスト出演。ボーンズをフィーチャーした森の中?
でのアイリッシュはセッションの楽しさ充満。アイリッシュ・
ファンのみならずみんな笑顔。Go')

[CD/LATVIA]

*RAHU THE FOOL: On The Dancefloor D
(一人抜けて二姫二太郎の四人組の Rahu The Fool ~ Peteris
Narubins {ヴォーカル、マンドリン、ストンブボックス}、Lauma
Bērza {ヴァイオリン、ヴォーカル}、Ben W. Goldsmith {サククス、
ウクレレ、ヴォーカル}、Evita Bambane {ダブルベース、ヴォーカ
ル} ~ の新作はライブ・アルバム。彼らの音楽は彼らの言葉を借
りれば「ジャグバンドの伝統に根ざし、アコースティック・サウ
ンド、遊び心あふれる精神、ダンサブルな音楽とラトビア国内
外の伝統的なダンス曲や冒険的なバラッドやオリジナル曲を融
合」した音楽。彼らの米国のジャグバンドやブルースやジャズや
カントリーとラトビア内外のトラッド & ダンス・サウンドとを
まぜこぜにした音楽は彼ら独自の大衆音楽レベルの異種交配娯
楽音楽を創作していてメチャ楽しい。2026 作。CPL-Music)

[CD/ESTONIA, WALES]

*SILD: Tro Z
(Sild はエストニアの女性シンガーでフィドル奏者の Sille
Ilves とウェールズのギター、ハモンドオルガン奏者の Martin
Leaman のデュオ。Sille の極北的で神秘的なシンギング {トラッ
ド・シンガーとしてトップ・クラス} は絶品な上に二人が奏でる
トラッド・サウンドは厳かな深みがある。エストニアのトラッド
とウェールズのトラッドとが彼ら流にナチュラルにブレンドさ
れていてトラッド・アルバムとして秀逸。Produced by Geri
Rhys Matthews。2008 作。Fflach)

[CD/France]

*PICOTAGE: Noel Nouveau Est Venu

B

(発掘CD。「フランス中部のレパートリーを専門とするこのグループの2作目。このCDにはオーヴェーニュやペリーなどの地方の伝統から生まれたクリスマスをテーマにした歌曲やアリアが収録されています。クリスマスの歌の解釈はGloria Morettiの力強い歌声に託され、ハーディガーディ、バグパイプ、ダブルリード、キーボードの伴奏が響き渡ります」[Radiomusc]。Gloria Morettiのシンギングが素晴らしい上に、フレンチ・トラッド・サウンドも極上。2000作。FolkClub Ethnosuoni)

*GAYANE: He Brings You Flowers

Y

(ブルターニュの歌姫Gayaneの2006年作。13曲中10曲は英語で[ラストの仏語の歌は英語による1曲目の仏語がア・ジ・ョ]、英国の夢心地な不思議女性SSW的。夢のような世界をきらめきのあるアコースティック・サウンド〜フォーク・ロックで、Gayaneらしい美意識の中で表現しきっている。2006作。Keltia Musique)

[CD/ASTURIES]

*DRD: Nama i

B

(発掘CD。スペイン・アストゥーリアスの三人組“DRD”{楽器編成は木製フルート各種フィドル、ギター、ブズーキ。それにヴォーカル}の2005年作。かれらはアストゥーリアスの伝統音楽をケルティックな音楽センスと演奏で当時最前線のケルティック・トラッドを体現。Doifu R. Fernandezのシンギングを含め、彼らのアストゥーリアス風ケルティック・トラッドの何と素晴らしいこと! Fonn Astur)

[CD/ITALY]

*MARCHELLO: Filuzi - Balli Bolognesi

Y

(発掘CD。アコーディオン奏者のMarco Marchelloの演奏とグループ演奏による祖父母の時代の古き良きアコーディオン音楽{イタリアン・ミュゼット}の世界。ワルツ、マズルカ、ポルカ、タンゴ 2012作。Tasa Dancer)

[CD/SLOVAKIA]



(Neha!)

*NEHA!: Svetu

D

(2020年にスロバキアで結成された女性6人組多声ヴォーカル{ポリフォニー}・グループの爽快デビュー・アルバム。アルバムタイトルの“Svetu”は“優しさ”の意。構成メンバーのシンガーはそれぞれが国内外で活動する個性豊かで優れたシンガー。本作ではスロバキアや東欧などに伝わる喜びに溢れた伝統歌が10曲収録。ブルガリアなど東欧の伝統的女性多声ヴォーカル・

ミュージックのスタイルで、時折パーカッションやチェロやハーブを交え、自由闊達に多層的にハーモナイズする。その精緻に構成された多層的ヴォーカル・アレンジは見事と言うほかない。2026 作。CPL Music)

※Neha!は単なるヴォーカル・アンサンブルではありません。それは友情、勇気そして芸術的自由を映し出す生きた肖像なのです。それぞれに個性的で奥深く複雑な魅力を持つ6人の女性たち。彼女たちが織りなす歌声は境界を超え、人々の心に響く多声的なタペストリとなります。(Neha!のサイトより)

[CD/CZECH]

- *BARBORA XU:The Garden Of Otava D
(チェコの女性SSWで、ハーブ、カンテレ、中国の伝統楽器の古箏等の演奏家、Barbora Xuの新作で、通算二枚目。本作はBarboraが7年間暮らしたフィンランドのオタヴァ島にある人里離れたログキャビンで制作されたという。ハーブ、カンテレ、古箏を爪弾きながらうたうBarboraはまるでフィンランドの森の精。森の不思議さや澄んだ空気感を内含した唄と伝統的な音色を秘めた音楽そして鳥の囀りは不思議な世界へと誘う。全てがピュアで音楽全体の鮮度が高い。滅多にお耳にかかれない精神性の高いマジカルな音楽だ。自己紹介、楽器解説、歌詞、曲目解説[英語・中国語]等付。真夏に清涼感を運んでくれそう。2025 作。Nordic Notes)

[CD/HUNGARY]

- *KORPAS EVA:Szerelem Szerelem A
(発掘CD。「若き民謡芸術家」の称号を持つ、かつてハンガリーで引っ張りだこだったトラッド・シンガー、Evaの2010作。ハンガリーのトラッドとジャズの融合を試みた意欲作だが、突っ張った感じではなく、全体的に円やか。全18曲。FolkEuropa)
- *KOLINDA:Incantation D
(Kolindaの1997年作。Pan)
- *KOLINDA:Forgotten Gods D
(Kolindaの2000年作。女性シンガーのKriszta Kovátsを迎え、汎東欧～西アジア的悠久感のあるKolinda流異種交配エキゾティック・ミュージックを創作。Pan)
- *MESZECSINKA:Allj Bele A Melybe C
(北欧の魔性的トラッドを彷彿させるフォーク・ロック・グループMeszecsinkaの2019年作。彼らの深淵な野性味と無国籍でエキゾティックな音楽は天下一品。加えて聖と俗を併せ持つOláh Annamaria嬢のエキゾティックなヴォーカルも天下一品。孤高のハンガリー発フォーク・ロック。CPL-Music)

[CD/UKRAINE]

- *ЖИВІ!(Mariana Sadovska & Vesna) D
:You Should Live!
(本作はウクライナの伝承歌とウクライナの詩人の詩に主にMarianaが曲を付けた曲から構成されているが、Marianaは現代詩の中にウクライナの伝承歌と同ような「守護と癒しの力」を

感じたという。Mariana の念ずるような唄は音楽的にはサーミ
[ラップランド] のヨイクのような印象だが、伝承歌やフォーク
の域を超えて心に刺さる。土俗性を強烈に帯びた Mariana の唄
は真にポジティブだ。音楽はジャンルを超えて柔軟で Mariana
の渾身の唄と融合・一体化している。現代の“民族”音楽。歌詞原
詩・歌詞英訳・曲目解説等付。2026 作。CPL-Music)

[CD/GYPSY]



(Júlia Kozáková)

*JULIA KOZAKVA - MANUSA II

D

(久し振りに聴く ロマ{ジプシー} 音楽。バンド編成は Júlia
Kozáková{ヴォーカル}, Viliam Didiáš{ヴァイオリン}, Géza
Jónás{ツィバロン}, Vojtech “Bélu” Botoš{ヴィオラ}, Ján
Rigo{ダブルベース}, Zsolt Varady{ギター} の一姫五太郎。これ
が凄い。スロバキア出身でジャズ・ヴォーカルやフラメンコを学
んだという Júlia のヴォーカルは情熱的で唄が弾み圧巻だし、
「これぞロマ音楽！」と豪語したくなる職人技的音楽も圧巻。ワ
ンランク上のロマ音楽。2025 作。CPL Music)

※豊かな感性と共感をもって伝統と即興を織り交ぜ、過去と現在が
親密かつ共同的に対話するような世界観を創り上げています。愛、
憧憬そしてほのかな哀愁が溶け合い、一つの調和のとれた作品とし
て結実しています。(Júlia Kozáková のサイトより)

《堀田はりいの新刊》

◎堀田はりい著『新・卑弥呼物語—卑弥呼と壹與の女王国』◎

～伊都国王統の卑弥呼女王の生涯と

伊都国から大和国への遷都の物語～

(本体 1350 円【税込み 1485 円】(送料無料))

◎ご注文に本書が含まれている場合は送料無料です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

SALE、稀少盤他

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

※ほとんどが在庫 1～2 枚。

(CD/Guitar ほか)

*JOHN RENBOURN & STEFAN GROSSMAN

:Snap A Little Owl(1988 作)

D

*OTTMAR LIEBERT:Nouveau Flamenco

C

(1990 作。High Octave Music)

*ALEC FINN:Blue Shamrock

Z

(“Irish Airs played on Guitar and Bouzouki”.w. Mary Bergin,
Sean Ryan, Tommy Keane 他。1994 作。Alec Finn)

(CD/Celtic Harp)

- *TELYN Y CELT (TRAD HARPS) A
(Laoise Kelly, Sileas, Maire Ni Chathasaigh, Cormac De Barra, Wendy Stewart, Alison Kinnaird, Corrina Hewat, Robin Huw Bowen, Dominig Bauchaud 他ケルティック・ハープの名手達のコンピレーション。全 18 トラック。Sain)
- *MICHELLE MULCAHY: Lady On The Island E
(2022 作。Michelle Mulcahy)
- *ALISON KINNAIRD: The Silver String D
(CD+DVD の二枚組。2004 作。Temple)
- *POOZIES: Yellow Like Sunshine (Greentrax) B
- *MACMASTER・HAY: Hook B
(Mary MacMaster & Donald Hay のデュオ。2012 作。MDMC)
- *INGRID HENDERSON: Brath Sa Bhuideal B
(Old Laundry)
- *WENDY STEWART: About Time 2 (1997 作。Greentrax) B
- *WENDY STEWART AND GARY WEST: Hinterlands B
(2009 作。Moulincairn)
- *CATRIONA MCKAY & CHRIS STOUT: Laebrack B
(2005 作。Greentrax)
- *CATRIONA MCKAY: Starfish (2008 作。Glimster) B
- *CATRIONA MCKAY & CHRIS STOUT: White Nights B
(2010 作。MSMOO1CD)
- *WILLIAM JACKSON: Land Of Light (1999 作。Mill) B
- *WILLIAM JACKSON: Celtic Chillout (2002 作。Mill) B
- *WILLIAM JACKSON: Duan Albanach (2003 作。Mill) B
- *AILIE ROBERTSON'S TRADITIONAL SPIRITS B
(2011 作。Lorimer)
- *RACHEL HAIR: Hubcaps & Potholes B
(2006 作。March Hair)
- *KATHLEEN LOUGHNANE: Harping On B
(w. Seamus Begley, Mary Bergin, Alec Finn, Sean Ryan, Sharon Shannon 他。2002 作。Reiskmore Music)
- *SEANA DAVEY & STEPHEN DOHERTY: The Esdee Sessions B
(アイリッシュハーブ名手の Seana Davey とアイリッシュフルート奏者の Stephen Doherty の 2018 作。SD001)
- *TRISKELL: Harpes Celtiques (1994 作。Keltia Musique) B
- *DOMINIG BOUCHAUD: Harpe Celtique B
(1987 作。Keltia Musique)
- *DOMINIG BOUCHAUD・CYRILLE COLAS: Heol Dour B
(1993 作。Keltia Musique)
- *THERESE HONEY: The Royal Harpist (2014 作。Waterbug) A
- *LORIN GREAN: Hand Woven A
(1997 作。Silver Wave)

(CD/USA, Singer&Songwriter ほか)

- *RANDY BURNS: Live At Jocko's E
(1976 年 2 月 14 日、Jocko Sullivan's での弾き語りライブ。全 17 曲。かなりの稀少盤。サイン入り。スリムケース仕様 CD-R。1976 年

/2011 作。WildCat)

- *RANDY BURNS:Hobos And King E
(Randy Burns with Rob Taube{ピアノ、ベース}による 2010 年作。
しみじみとした味わいの Randy Burns の世界。名盤レベル。これ
も稀少盤。全 12 曲。CD-R。Randy Burns
- *DON McLEAN:Homeless Brother C
(1974 年/1994 作。BGO)
- *DILLARDS:Let It Fly(1990 作。Vanguard) C
- *GOLDEN SMOG:Down By The Old Mainstream A
(1995 作。Rykodisc)
- *FRED JAMES & MARY-ANN BRANDON:We Belong Together A
(2010 作。SPV)
- *BILLY C. FARLOW:I Ain't Never Had Too Much Fun A
(w. Fred James, Mary-Ann Brandon 他。1991 作。Appaloosa)
- *BILLY C. FARLOW:You Better Run(2011 作。SPV) A
- *LILA NELSON:Letter Home(2008 作。Medeline Music) A
- *JERRY JEFF WALKER:Great Gonzos(1991 作。MCA) A
- *TIL THEIR EYES SHINE..."The Lullaby Album" A
(Emmylou Harris, Kate & Anna, Mary-Chapin Carpenter, Laura
Nylo, Maura O'Connell, Rosanne Cash, Carole King, Dianne
Warwick 他。全 11 曲。Columbia)
- *MICHELLE SHOCKED:The Texas Campfire Tapes Z
(1986 年/1999 作。Mooncrest)
- *LAURIE LEWIS & KATHY KALLICK:Together Z
(1991 作。Kaleidoscope)
- *LORIE LINE & HER POP CHAMBER ORCHESTRA
:The Heritage Collection III Z
(“Hymns & Historic American Music”。2002 作。Time Line)
- *RICHARD MEYER:The Good Life(1992 作。Shanachie) Y
- *TOM ROZNOWSKI:A Well Traveled Porch Y
(1999 作。Roseheart)
- *CAREY BELL:Brought Up The Hard Way X
(“Retrospective”。1988, 1989, 1990, 1997 年。JSP)

(中古 CD/USA)

- *FELLOW TRAVELLERS:Things And Time D
(実質的に Jeb Loy Nichols のソロ。新品同様。1993 作。OKra)
- *HUNTER MOORE:Delta Moon Z
(トレイに折り目が入った新品同様の中古盤。1996 作。Brambus)
- *TOM ROZNOWSKI:Voice Beyond The Hill Z
(ほぼ新品の中古盤。2001 作。Blazing Stump)

(サンプル CD/USA)

- *LITTLE CHARLIE AND THE NIGHTCATS
:Shadow Of The Blues X
(バーコードに 6 ミリの穴の開いた新品のサンプル盤。1998 作。
Alligator)
- *TOM PHILLIPS & THE MEN OF CONSTANT SORROW
:King Of The Broken Heart X
(バーコードに 1 ミリの穴の開いた新品のサンプル盤。2004 作。)

Ruby Moon)

- *STITCHIE:Serius Message X
(バーコードをマジックで消したほぼ新品のサンプル盤。2010 作。
Drum & Bass)

(CD/USA {Trad 系})

- *TODD MENTON:Punts (2002 作。New Folk) Y
*LAURA MaCKENZIE:Laura & The Lads (2003 作。New Folk) Y
*LEHTO & WRIGHT:Between The Jigs And The Reels Y
(2008 作。New Folk)

(サンプル CD/USA {Trad 系})

- *CONNIE DOVER:If Ever I Return Y
(バーコードに 5 ミリほどの穴の開いたサンプル盤。ブックレット
を綴じるホッチキスがさび付いていますが、CD 自体は新品同様。
Produced by Phil Cunningham。1997 作。Taylor Park Music)
by Lloyd Maines。2008 作。Waterbug)

(CD/CANADA)

- *BRUCE COCKBURN:Sunwheel Dance (1971 作。True North) A
*BRUCE COCKBURN:Circles In The Stream A
(1977 作。True North)
*BRUCE COCKBURN:Live (1990 作。True North) A
*BRUCE COCKBURN:You Pay Your Money And You Take
Your Chance, Live (1997 作。True North) A
(1977 作。True North)
*SCOTT DIBBLE & WATERTOWN:One Phoebe Street B
(w. Colin Linden, Richard Bell, Ken Whitely 他。1992 作。WEA)
*WAKAMI WAILERS:Waltz With The Woods X
(“Songs For Ontario’s Provincial Park”。1993 作。NR2973)

(サンプル CD/CANADA)

- *BE GOOD TANYAS:Blue Horse X
(トレイの端っこがカットされ、サンプル盤等のシールが貼られ
たほぼ新品のサンプル盤。2000 作。Porch Music)
*HEATHER DALE:The Road To Santiago X
(バーコードに 2 ミリの穴の開いた新品のサンプル盤。2005 作。
Amphisbaena Music)

(CD/CANADA {Trad 系})

- *LOREENA McKENNITT:Parallel Dreams Z
(かつてのベストセラー。1989 年/2004 作。Quinlan Road)
*MATAPAT:Bourqlie Bernard & Lepage Z
(“Musique Traditionnelle Du Quebec”。1998 作。Borealis)

(CD/UK)

- *VAN MORRISON:Moondance B
(1970 作。France Warner)
*MINK DeVILLE:2 Original Albums B
“Cabretta” {1977 作} と “Return To Magenta” {1978 作} の 2 in 1。

Raven)

- *PAUL MILLNS:Against The Tide B
(w. Bert Jansch, Ralph McTell, Christine Collister, Gerry Conway, Ric Sanders, Nigel Portman-Smith, Stevie Simpson 他。
1994 作。Hyion Music)
- *RAB NOAKES:The River Session(2003 作。River) B
- *RALPH McTELL AND WIZZ JONES>About Time A
(2016 作。Leola Music)
- *WIZZ JONES, PETE BERRYMAN & SIMEON JONES
:Come What May(2017 作。Riverboat) A
- *BURN:Rip It Up(1994 作。Formula One) X

(サンプル CD/UK)

- *LADY SAW:The Collection X
(バーコードに 5 ミリの穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。1997 作。
全 20 曲。Diamond Rush)

(CD/ENGLAND)

- *SAVOURNA STEVENSON・JUNE TABOR・DANNY THOMPSON
:Singing The Storm(1996 作。Cooking Vinyl) E
- *HARRY COX:The Bonny Labouring Boy E
(“Traditional Songs & Tunes From A Norfolk Farm Workers”。
二枚組。全 54 曲。Topic)
- *PETER BELLAMY:Fair Annie C
(“Peter Bellamy”と Fair Annie”+未発表曲 4 曲の 2 枚組。全 33 曲。
1975 年、1979 年、1980-81 年録音。Fellside)
- *DAVID ROTHERAY'S “The Life Of Birds” A
(Bella Hardy {3 曲}, Jim Causley {3 曲}, Eliza Carthy {2 曲}, Julie
Murphy, Alasdair Roberts, Kathryn Williams, Eleanor McEvoy 等
の唄がフィーチャーされた企画アルバム。全 14 曲。2010 作。Proper)
- *ROY BAILEY:New Directions In The Old(1977 作。Fuse) A
- *COOPE BOYS & SIMPSON:Falling Slowly A
(1996 作。No Masters Co-operative)
- *IAN CARR・KAREN TWEED:Shhh(1995 作。Hypertension) A

(CD/SCOTLAND 他)

- *SCOTTISH TRADITION 16 “William Matheson
- Gaelic Bard & Minstrels” E
(二枚組。全 35 曲。2000 作。Greentrax)
- *SCOTTISH TRADITION 21 “Orkney
- Land, Sea & Community(全 23 曲。2004 作。Greentrax) B
- *ARTHUR CORMACK:Ruith Na Gaoith B
(“Singing Old & New Songs Of Scottish Gael”。30 数年前のベ
ストセラー。1989 作。Temple)
- *CHRISTINE PRIMROSE:Gun Sireadh, Gun Iarraidh B
(20 数年前のベストセラー。2001 作。Temple)
- *KEVIN HENDERSON・JENNA REID・KEVIN MACKENZIE
:Da Homin(HRMCD001) B
- *JENNA AND BETHANY REID:Escape B
(“The Story Of Jan Baalsrud And The Shetland Bus”。2010 作。

Lofoten)

*CLUTHA:Live From Harvard B
 (Gordeanna McCulloch がヴォーカルのスコティッシュ・トラッド・グループの 1981 年のライブ。全 19 トラック。2019 作。Clutha)

*BOYS OF THE LOUGH:Twenty (2005 作。Lough) A

*ANDY M. STEWART:Donegal Rain (1997 作。Green Linnet) A

*JOHN MacDONALD
 :The Singing Molecather Of Morayshire A
 ("Scots Ballads, Bothy Songs & Melodeon Tunes"。全 19 曲。
 1998 作。Greentrax)

*JIMMY HUTCHISON:Corachree A
 ("Scots Songs & Ballads"シリーズ。2000 作。Living Tradition)

*BOB BLAIR:Reachin' For The High, High Lands A
 ("Scots Songs & Ballads"シリーズ。2000 作。Living Tradition)

*FISKA:A Thousand Miles Away (2003 作。Foot Stompin') Z

*CALUM ALEX MACMILLAN:Taladh Nan Cuantan Z
 (ゲーリック・トラッド・シンギング・アルバム。2005 作。Skippinish)

*NORTHERN FLYWAY:Northern Flyway (2018 作。Hudson) Z

*FINE FRIDAY:Gone Dancing Z
 (Kris Drever, Nuala Kennedy, Anna-Wendy Stevenson のトリオ。
 2002 作。Foot Stompin')

*FINE FRIDAY:Mowing The Machair Z
 (Kris Drever, Nuala Kennedy, Anna-Wendy Stevenson のトリオ。
 2004 作。Foot Stompin')

*NUALA KENNEDY:The New Shoes (2007 作。Compass) Z

*KELTIK ELEKTRIK:2 Z
 (Jack Evans, Mike Kats, Tony McManus, Kathryn Nicoll, Simon
 Toumire のスーパー・ケルティック・グループの 2000 作。Greentrax)

*ALEXANDER McCALL SMITH & JAEMES ROSS
 :These Are The Hands Z
 (ゲスト・シンガー:Michael Burke & Kathleen MacInnes。2019 作。
 Greentrax)

*DANCE ACROSS THE SEA Y
 ("Dances And Airs From The Celtic Highlands"。1991 作。
 North Star)

*HEAT THE HOOSE 2 Y
 (John McCusker, Jennifer & Hazel Wrigley, Liz Doherty, Aidan
 O'Rourke, Anna-Wendy Stevenson, Claire Mann with Aaron
 Jones, Eilidh Shaw ほかケルティック。スコティッシュ・フィドル
 をメインにしたコンピレーション。全 16 トラック。2000 作。
 Foot Stompin')

*RORY CAMPBELL & MALCOLM STITT:Field Of Bells Y
 (Lochshore)

*CANTYCHIELS:Cantychiels (1999 作。Greentrax) Y

*DONALD BLACK・MALCOLM JONES:Close To Home Y
 (2000 作。Macmeanmna)

*ROCK SALT & NAILS:4621 (1996 作。Forth Recording) Y

*DONNIE MUNRO:Donnie Munro (2000 作。Vital Spark) Y

*DONNIE MUNRO:Fields Of The Young Y
 (2004 作。Hypertension)

- *SOMON THOUMIRE・FERGUS MACKENZIE:Exhibit Y
(1995 作。Iona)
- *JOHN CARMICHAEL AND HIS BAND:Carmichael's Ceilidh
Ball (Lochshore) X
- *JIMME O' NEILL:Real (Keltia Music)

(サンプル CD/SCOTLAND)

- *CELTIC SOUL X
(ジャケットにサンプル盤等のスタンプが押されたほぼ新品のサンプル盤。Iron Horse, Old Blind Dogs, Steve Laurence & Hudson Swan 他のコンピレーション。全 11 曲。Lochshore)
- *HUDSON SWAN BAND:Flyte Of Fancy X
(バーコードにスタンプが押されたほぼ新品のサンプル盤。1998 作。Lochshore)
- *MICK WEST BAND:Right Side O' The People... X
(ジャケットにサンプル盤等のシールが貼られたほぼ新品のサンプル盤。1997 作。Lochshore)

(サンプル CD/NEW ZEALAND)

- *DALEWOOD AUCKLAND & DISTRICT PIPE BAND
:Southern Gael X
(バーコードにスタンプが押されたほぼ新品のサンプル盤。1998 作。Monarch)

(サンプル CD/WALES)

- *CLORACH:Tudur Morgan X
(CD の印刷面にサンプル盤等のシールが貼られた新品のサンプル盤。2007 作。Fflach)

(CD/IRELAND)

- *IRISH FOLK FAVOURITES D
(四枚組セット。Disc 1 :Dubliners13 曲と Kilfenora Ceili Band 14 曲。Disc 2 :Kilfenora Ceili Band20 曲と Andy Irvine 他の Sweeney's Men13 曲。Disc 3 :Crehan Sisters12 曲と Finbar And Eddie Furey7 曲。Finbar And Eddie Furey7 曲と Mick Moloney 16 曲。1998 作。Castle)

※箱ケースの厚さをクリックポストサイズに収めるために、箱ケースから CD を出して、箱を折りたたんで梱包します。

- *LIZ CARROLL & TOMMY MAGUIRE:Kiss Me Kate C
(1995 作。Shanachie)
- *MARY McPARTLAN:Petticoat Loose C
(w. Frankie Gavin, Mairtin O Connor, Johnny Ringo McDonagh, Cathal Hayden, Garry O Briain, Brendan O Regan 他。2008 作。MCPRCD002)
- *MIKE McGOLDRICK & DEZI DONNELLY:Dog In The Fog C
(2018 作。Boxroom Music)
- *SEAN O RIADA:O Riada Sa Gaiety A
(w. Paddy Moloney, Michael Tubridy, Martin Fay, John Kelly, Sean Keane, Sean Potts, Eamon de Buitlear, Peadar Mercier}。1970 作/2005 年。Gael-Linn)

- *BORDER COLLIES:Unleashed! (2004 作。Border Collies) A
- *RONAN BROWNE AND PETER O' LOUGHLIN
 - :The South West Wind A
 - ("Traditional Music From County Clare".Claddagh)
- *FINGAL (JAMES KEANE-RANDAL BAYS-DAITHI SPROULE)
 - :Fingal (2008 作。New Folk) A
- *CHULRUA:Barefoot On The Alter Z
 - (1999 作。Pied Piper Prod.)
- *DAVID MUNNELLY:Swing... Z
 - (w. Sharon Shannon, Gavin Ralston, Daire Bracken 他。2001 作。Hummingbird)
- *IARLA O LIONAIRD:Invisible Fields Z
 - (2005 作。Real World)
- *SAW DOCTORS:The Cure (2005 作。Shamtown) Z
- *OSNA:Osna (Celtic Note) Z
- *SEAMUS WALSHE:Clare Accordion Z
 - (w. Brendan Larrisey, Jimmy Higgins, Tommy Hayes. Mark Kelly 他。Ceol Music)
- *SEAMUS SANDS:Across Bridges Z
 - ("Traditional Irish Fiddle Playing".SSSCD100)
- *SINEAD LOHAN:No Mermaid (1998 作。Grapevine) Y
- *BRUADAR:Bruadar Y
 - (ゲスト:Liz Doherty。2000 作。Bruagar)
- *KATHLEEN O' SULLIVAN:Born On St Patrick's Day Y
 - (London Lasses のヴォーカル、K. O' Sullivan のソロ。Lo La)
- *MARIE WALSH:The Red Box (2005 作。Owenglen) Y
- *IRISH FAVOURITES Y
 - (Tony MacMahon & Noel Hill, Frankie Gavin & Charlie Lennon, Jackie Daly & Seamus Greach 他。16 トラック。2001 作。Forever Gold)
- *CHAMPIONS OF IRELAND "Accordion" X
 - (Featuring Irish champion, Denise Shiels。2000 作。Connoisseur)

(CD/SWEDEN)

- *SUSANNE ROSENBERG:Uppa Marmorns Hoga Berg C
 - (w. Ulrika Boden。1996 作。Giga)
- *GUNNEL J MAURITZSON:Silhouette C
 - (w. Roger Tallroth, Ola Backstrom。1996 作。Sandkvie)

(CD/BRETAGNE)

- *GLENMOR:Dix Ans Deja... (Coop Breizh) Y
- *MICHEL TONNERRE:Quinze Marins Y
 - (2007 作。Keltia Musique)

(CD/BELGIUM, FLANDERS)

- *WOUTER VANDENABEELE:Chansons Sans Paroles Z
 - (2007 作。Homerecords)
- *TURLU TURSU:Accordion 'n Drum 'n Bass Y
 - (2005 作。Homerecords)

(CD/ASTRIAS)

*CADABA:Do Y Sidemol(2005 作。San Miguel) A

(CD/SPAIN)

*EDUARDO PANIAGUA:Cantigas De Valencia C
(2006 作。Pneuma)

*NOUR:Papier Mullat(2007 作。Kasba) Y

(CD/ITALY)

*CALIC:Attinde(1998 作。CNI) Y

(CD/BOSNIA)

*WIENER TSCHUSEKAPELLE & JOVICA PETKOVIC
:Bosanse Sevdalinke Y
("Sevdah-Lovesongs From Bosnia"。2007 作。Tschuschenton)

(CD/ARMENIA)

*HAYASTAN:Traditions Of Armenia Y
(1998 作。全 26 曲。MW)

(CD/KLEZMERJEWS 他)

*MAZELTONES:Zei Gezunt!(1991 作。Global Village) Z

*POLINA SHEPHERD VOCAL EXPERIENCE:Baym Taykh Z
("New Yiddish Songs"。2007 作。Oriente Musik)

*DI GOJIM:Grine Medine(1991 作。Syncoop) Y

*CHAVA ALBERSTEIN:Sings Yiddish Y
(全 21 曲。1978 年-1987 年-1989 年。CBS)

*GEVATRON:Famous Yiddish Songs In Hebrew Y
(1991 作。Hataklit)

(CD/CAMEROUN)

*SALLY NYOLO:Tribu(1996 作。Musicor) Y

(CD/WORLD)

*ONE VOICE "Vocal Music From Around The World" Y
(欧米のトラッド・シンガー&グループを中心にセレクトしたコンピレーション。全 19 曲。World Musin Network)

[LP] ※検品してお送りします。

(LP/USA)

*JAMES LUTHER DICKINSON:AXCV2 税込み 3800 円
("Volume2 Spring Poems"サントラ。1990 作。Fan Club)

*CHUCK McDERMOTT:The Turning Of The Wheel B
(英国盤。1986 作。Sunstorm)

(LP/USA, CANADA{Trad})

*NED BACHUS:Raisin D'Etre(1984 作。Folk Tradition) B

*AD VIELLE QUE POURRA:New French Folk Music B
(1989 作。Green Linnet)

(LP/WEST AFRICA)

*KASSE MADY:National Badema(1988 作。Syllart) C

【中古LP】 ジャケットなど経年劣化はあるもののほぼ新品

(LP/USA)

*CHRIS DUCEY:Duce Of Hearts B

(カット盤。米国盤。1975 作。Warner)

*BILL AND BONNIE HEARNE:New Mexico Rain B

(1982 作。Alpine)

*DAVID RUTHSTROM:Moonshine Dreamer(1980 作。Golddust) B

(LP/WEST AFRICA)

*DEMBO KONTE & KAUSU KUYATEH:Tananye(1987 作。Rogue) B

【Compass Records 特注リスト】

【注文締切り日: 10 月 2 日(金) 入荷予定日: 10 月下旬】

※全商品 CD 税込み 2750 円 LP 税込み 5250 円

(但し入荷出来ない場合もあります)

順不同

(CD)

Aidan O'Rourke:Sirius

Alan Kelly:Fourmilehouse

Altan:25th Anniversary Celebration

Altan:Donegal

Altan:Local Ground

Altan:Gleann Nimhe - The Poison Glen

Altan:The Gap of Dreams

Altan:The Widening Gyre

Aly Bain & Phil Cunningham:Another Gem

Aly Bain & Phil Cunningham:The Best of Aly and Phil

Alyth McCormack:The Edge

Annbjørg Lien:Khoom Loy

Annbjørg Lien:Waltz With Me

At First Light:Idir

Bill Whelan with the Irish Chamber Orchestra:The Connemara Suite

Billy McComiskey:Outside the Box

Breabach:The Big Spree

Capercaillie:At the Heart of It All

Capercaillie:Roses and Tears

Cathal McConnell:Long Expectant Comes at Last

Catriona MacDonald:Bold

Ciaran Tourish:Down the Line

Dónal Clancy:Close To Home

Éamonn Coyne:Through the Round Window

Éamonn Coyne & Kris Drever.Honk Toot Suite

Éamonn Coyne & Kris Drever:Storymap

Eddi Reader:Angels & Electricity

Eddi Reader:Peacetime
Eddi Reader:Simple Soul
Eddi Reader:Sings the Songs of Robert Burns
Eileen Ivers:An Nollaig: An Irish Christmas
Frances Black:Stronger
Gerry O'Connor:Myriad
Green Fields of America:The Green Fields of America
Heidi Talbot:Angels Without Wings
Heidi Talbot:Distant Future
Heidi Talbot:In Love + Light
Heidi Talbot:The Last Star
Ian Carr:Fyace
John Doyle:Shadow and Light
John Doyle:The Path of Stones
John Doyle:Wayward Son
John McSherry:Soma
John McSherry:The Seven Suns
John McSherry:Tripswitch
John Williams:Raven
Karan Casey & John Doyle:Exiles Return
Karan Casey:Ships in the Forest
Karen Matheson:Downriver
Karen Matheson:Still Time
Kate Rusby:Hourglass
Kate Rusby:Little Lights
Kate Rusby:Sleepless
Kate Rusby:Ten
Kate Rusby:Underneath the Stars
Kris Drever:Black Water
Liz Carroll & John Doyle:Double Play
Liz Carroll & John Doyle:In Play
Lau;Lightweights & Gentlemen
Lau:Live
Martin O'Connor:The Connachtman's Rambles
Michael Black:Michael Black
Michael McGoldrick:At First Light
Michael McGoldrick:Aurora
Michael McGoldrick:Fused
Michael McGoldrick:Wired
Mick McAuley:Serenade
Mick Moloney:If It Wasn't for the Irish and the Jews
Mick Moloney:McNally's Row of Flats
Moving Hearts:Live in Dublin
Mozaik:Changing Trains
Mozaik:Live from the Powerhouse
Muireann Nic Amhlaoibh:Daybreak: Fáinne an Lae
Oisín McAuley:Far From the Hills of Donegal
Old Blind Dogs:Four on the Floor
Old Blind Dogs:Wherever Yet May Be
Ollam:Ollam

Paul Brock & Enda Scahill:Humdinger
Pauline Scanlon:Hush
Pauline Scanlon:Red Colour Sun
Phillips, Grier & Flinner:Phillips, Grier & Flinner
Poozies:Raise Your Head (A Retrospective)
Sean Doyle:The Light and the Half-Light
Sharon Shannon:Each Little Thing
Sharon Shannon:Libertango
Sharon Shannon:Out the Gap
Sharon Shannon:Saints & Scoundrels
Sharon Shannon:Sharon Shannon
Sharon Shannon:Spellbound: The Best of Sharon Shannon
Sharon Shannon & Friends:The Diamond Mountain Sessions
Sharon Shannon:The Sharon Shannon Collection 1990-2005
Sharon Shannon:Tunes
Shooglenifty:Radical Mestizo
Shooglenifty:Solar Shears
Shooglenifty:The Arms Dealer's Daughter
Solas:For Love and Laughter
Solas:The Turning Tide
String Sisters:Live
T With the Maggies:T With the Maggies
(↑Clannad の Moya Brennan, Altan の Mairead Ni Mhaoinaigh そして Triona & Maighread Ni Dhomhnaill 姉妹の 4 人組)
Tannahill Weavers:Live & In Session
Tannahill Weavers:Òrach (The Golden Anniversary)
Téada:Ceol & Cuimhne (Music & Memory)
Tony McManus:Ceol More
Tony McManus:Mysterious Boundaries
Tony McManus:Singing Sands
Tony McManus:The Maker's Mark (The Dream Guitar Sessions)
Unwanted:Music from the Atlantic Fringe
(↑Dervish の Cathy Jordan, Rick Epping, Seamie O'Dowd の 3 人組)
Usher's Island:Usher's Island
(↑Andy Irvine, Donal Lunny, Paddy Glackin, Mike McGoldrick, John Doyle の 5 人組)
Various Artists:Absolutely Irish
Various Artists:Celtic Compass

(LP)

Altan:Donegal
Bobby Long:Sultans
Guy Clark:Dublin Blues [30th Anniversary Edition]
Jeb Loy Nichols:June is Short, July is Long
Jeb Loy Nichols:Parish Bar

(LP) Mulligan Records

Andy Irvine & Paul Brady:Andy Irvine / Paul Brady (Special Edition)

(あとがき)

*ここ湯布院は夏はカラカラ天気です。雨が降って欲しいと願っていたら、今度はしとしと長雨。悲しきかな地球が狂い始めていますね。

*メルカリは個人と店舗の二箇所に出品していましたが、店舗の方の出店規約が変わって、店舗の方は閉鎖になりました。取りあえずお知らせしておきます。

*本リストからの注文とエリック・アンダーソンの新作の予約をお待ちしています。"Blue River"制作の裏話や初来日時の思い出話などインタビュー記事、面白いですよ！以下、エリック・アンダーソンの新作の曲目リストです。新作楽しみですね。(船津)

♪ERIC ANDERSEN:Welcome To Japan ¥3180(税込み¥3498)

《CD One》

1. Florentine
2. Time Run Like a Freight Train
3. Wild Crow Blues
4. I Shall Go Unbounded
5. Moonchild River Song
6. Sweet Surprise
7. How it Goes
8. Be True to You

《CD Two》

1. Woman, She Was Gentle
2. Dedication
3. Thirsty Boots
4. Come to My Bedside
4. Blue River
5. Is it Really Love at All
6. Down at the Cantina
7. Violets of Dawn
8. Wind and Sand

♪エリック・アンダーソン(ヴォーカル、ギター、ピアノ)



この10日ほど家に住みついているカマキリ

ご注文は song@tambourine-japan.com 又は tambour@ya2.so-net.ne.jp (CC 用) へ。

FAX : 0977-84-3343へ。